

東京経済大学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

2023年度 年次報告書



C o n t e n t s

| | |
|-------------------------------|----|
| はじめに | 2 |
| 地域連携センター 2023 年度年次報告書の発行にあたって | |
| I. 地域連携センター | 3 |
| 1. 事務体制 | |
| 2. 事業報告 | |
| (1) 事業方針 | |
| (2) 行事一覧 | |
| (3) 地域連携センター利用状況 | |
| (4) 情報発信 | |
| (5) 地域連携センター運営委員会 | |
| (6) 特命講師の活動実績 | |
| (7) 地域連携センターイベント | |
| II. 地域連携 | 26 |
| 1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会 | |
| 2. 国分寺周辺地域活動費助成事業 | |
| 3. 学生の社会貢献活動助成 | |
| III. 産学連携 | 34 |
| IV. 学生の社会貢献活動 | 52 |



2023 年度年次報告書の発行にあたって

東京経済大学地域連携センター (TKU Center for Regional Collaboration: 略称 CRC) は、本学の 社会貢献および産官学連携の窓口、ならびにそれらを促進していくための機関として設置されたものです。2015 年度に本学 1 号館 2 階に専用オフィスを開設し、専任職員および臨時職員による常駐体制を維持しています。また、当センターの運営を審議する機関として地域連携センター運営委員会が設置されています。

本学の生涯学習等における地域社会への貢献は長い歴史がありますが、2004 年 10 月、大学の社会貢献の方針をより明確にし、地域課題の解決をめざす研究や学生の地域参加を一層促進するため、国分寺市および国分寺市商工会の三者で相互に協力・連携する協定を締結し、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会が発足しました。同協定に基づいて、まちづくりにかかわる共同研究やシンポジウムなどの開催、ゼミやサークル単位での地域活性化等をめざした地域貢献活動、「地域インターンシップ」や「学生の地域貢献」というユニークな授業運営などに取り組んできています。また、地域金融機関との包括連携協定に基づいて、共同事業やアイデア・コンテスト、金融機関からの助成金もいただいた地域活性化事業の展開など、さまざまな連携が進んでいます。

当センターは、大学にお寄せいただく地域社会からのニーズやご相談を受けとめ、それらを学内に適切につないで連携を実現していく窓口として日常的に機能しています。同時に、活動に対する助成や活動支援を通じて学内諸団体(ゼミ、サークル等)が地域参加に足を踏み出す後押しをしています。また、当センターから生まれたまちづくり学生団体は、今や学内最大規模のボランティアサークルとして成長しています。

ついに 2023 年度は、長いウイルス災禍との闘いから解放され、全面的な対面活動が再開されました。数年来不開催だった地域のお祭りなどのイベントも再開し、学生たちが地域参加する機会が爆発的に増えた年だったといえます。本報告書をご覧いただければ、その様子がわかるでしょう。

おかげさまで、地域社会というキャンパス外の「学びの場」をいただいたことで、学生らは机上の学習だけでは学べない実践的なスキルや社会的感覚を身につけ、一回りも二回りも成長しています。

社会と大学とのパートナーシップをさらに確固たるものとし、社会の期待に応えられる大学としての責任を果たせるよう、当センターとしても最大限努力を続けて参ります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2024 年 3 月

地域連携センター運営委員長
尾崎 寛直(経済学部教授)

・地域連携センター

1. 事務体制

地域連携センター(TKU Center for Regional Collaboration:略称 CRC)は、2015年11月から1号館2階にオフィスを構えて窓口業務を開始しました。常駐職員2名体制で、外部機関等及び本学教職員・学生からの情報収集並びに双方への情報発信、シンポジウム、フォーラム、研究会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域連携・社会貢献活動への支援を行っています。地域連携センターには、地域連携に係るミーティングや作業を行う会議・作業スペースが併設されています。

窓口時間:原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の9:00～17:00

URL:<https://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

管理業務

- ・地域連携センターの鍵・物品・資料等の管理
- ・予算管理
- ・文書管理
- ・備品等の調達
- ・オフィスの整理

委員会等事務

- ・地域連携センター運営委員会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
- ・国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
- ・その他、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に係る委員会

外部機関との連携窓口

- ・国分寺市
- ・国分寺市商工会
- ・多摩信用金庫
- ・西武信用金庫
- ・地域の企業、団体及び市民

学内での窓口業務

- ・教職員への地域イベントや地域ボランティアの案内
- ・地域活動を行うゼミ・サークル等への地域情報の案内、全学生への地域情報提供
- ・他部署との連携・調整

事務作業

- ・地域イベントの準備・運営(シンポジウム、フォーラムなど)
- ・掲示物、看板等の作成・管理
- ・地域情報収集、教職員・学生の地域連携・社会貢献活動の発信



案内看板(1号館1階エレベーター前)



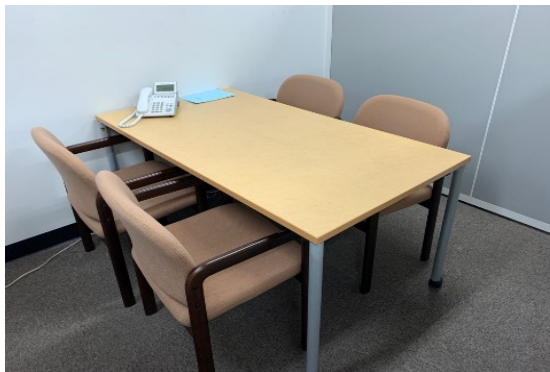
掲示板(地域連携センター前)



受付窓口・事務室



地域連携センター入口



【室内スペース小】応接コーナー 兼 特命講師相談ブース



【室内スペース大】会議・作業スペース



地域連携センター外観



小展示スペース(地域連携センター前)

地域連携センター使用に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、東京経済大学地域連携センター規程第2条に基づき、地域連携及び産学連携を目的とした地域連携センター(以下「センター」という。)の使用に関し、必要な事項を定める。

(管理)

第2条 センターの管理は、地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

(使用範囲)

第3条 センターの設備等の使用範囲は、次の各号のとおりとする。

- (1) 作業・ミーティング用テーブル
- (2) 打合せブース
- (3) 書庫(資料等保管用)
- (4) 物品収納スペース
- (5) 備付けの文房具

(使用資格)

第4条 センターの使用資格は、次の各号の者とする。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 本学が許可した者

(使用日時)

第5条 センターの使用は、原則として土・日・祝日を除く授業実施期間中の午前9時から午後5時までとする。そのほかの日時での使用に関しては、必要に応じて個別に対応する。

(使用手続)

第6条 センターの設備等を使用する際は、センター窓口で申請の上、許可を得るものとする。

2 第3条第1号及び第2号について、複数のグループから同日・同時間帯での使用申請があった場合は、申請順に使用を認める。10名以上で使用する場合には、あらかじめ日時・人数・目的等を申し出て予約することができる。

(使用心得)

第7条 センターの使用に当たって、使用者は次の各号を遵守しなければならない。

- (1) 室内での飲食・喫煙禁止
- (2) 室内での騒音及び携帯電話・スマートフォン通話禁止
- (3) 機器・備品・物品等の室外持ち出し禁止
- (4) 第1条に規定する目的以外の使用禁止

- (5) その他、公序良俗に反する行為の禁止
- (6) 整理整頓に心がけ、使用した機器・備品・物品等は元の状態・場所に戻すこと
- (7) 室内を清潔に保ち、使用後は清掃を行うこと
- (8) 教職員の指示に従うこと

2 使用者は、前項に規定する義務を怠り、故意又は重大な過失により設備・備品等に損害を生じさせた場合は、その損害を弁償しなければならない。

(使用禁止)

第8条 次の各号に該当する者には、センターの使用を禁止し使用中でも使用を中止させることがある。

- (1) センターの秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼす行為をした者
- (2) 教職員の指示に従わない者

(賠償義務)

第9条 使用者の責に帰すべき事由により設備等に損害を与えた場合は、本学が損害額を認定し使用者が負担するものとする。ただし、本学がやむを得ないと認めた場合はこの限りでない。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、地域連携センター運営委員会及び大学運営会議の議を経て学長が行う。

付 則

この規程は、2015年(平成27年)11月26日から施行する。

2. 事業方針

(1) 事業方針

2024 年度事業方針

1. 2023 年度までの事業の概要

2015 年度に東京経済大学地域連携センター（略称 CRC）が専任職員 1 名、臨時職員 1 名の常時窓口体制で開始してから 9 年が経過した。事務局機能の常設以降、地域社会や産業界等の学外諸機関と学内（ゼミ・サークル、学生・教職員）をつなぐ役割と機能が着実に強化されている。また、地域連携支援担当の特命教員 1 名の採用（2017 年度～）により、その機能がさらに強化され、特別ゼミ（「実社会における問題解決力を鍛える」）の開講など、正課の授業とも連動しながら学生の地域参加の機会を多彩に広げることが実現している。同特別ゼミは、開講以来毎年多くの学生を集めて、地元企業と連携した名物商品開発や国分寺市内飲食店を広く巻き込むコンペティションの開催など、さまざまなプロジェクトを仕掛ける成果を上げている。

この数年間、100 年に一度とされる全世界的な新型コロナウイルス災禍によって各種イベントやお祭りなどが軒並み中止に追い込まれ、学生の地域活動の機会は大いに消失していたが、2023 年度にはついに新型コロナウイルスが感染症法上の五類移行によって、各種の行動制限が撤廃された。そのため、あらゆる活動が全面対面に戻り、イベント・お祭り等も再開して地域活動は急速な復興を遂げている。これまで培ったオンラインのノウハウも、準備過程での打ち合わせ、情報共有、広報のために有効に活用しながら、今年度は学生たちが再び実地でいきいきと地域参加に邁進した象徴的な年といえる。

CRC が支援している国分寺地域を基盤にした東京経済大学公式まちづくり学生団体「こくスマ！」によるシティ・セールス等の活動も、全面対面の活動に戻ったことで勢いを取り戻して多くの新入生を迎え入れ、学内最大規模の団体に成長している。発足 2 年目の SDGs 学生委員会もさらに連携の幅を広げ、新たな地域連携事業にチャレンジしてきている。

東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会においても、コロナ下でオンライン開催あるいは停滞していた各種委員会も対面開催ですべて再開し、地域産業研究委員会では国分寺地域でのインバウンドや GX（グリーントランスフォーメーション）をめぐる地域活性化のあり方を議論する場も設定できたことは特筆される。

以上のように、さまざまな面で地域活動を再始動・再興していく画期の年になったと考えられる。

2. 2024 年度事業方針

CRC の事業の柱として、これまで 地域活性化等をめざした研究・交流の促進、 地域の課題に応え地域に貢献する協働事業の拡大、 学内外への情報発信、 SDGs の取り組みの推進、を位置づけてきた。

については、国分寺周辺地域をはじめとした地域の活性化やまちづくりなどの課題に、学生・教職員が関わっていくことは、大学教育にとっても教員の研究にとっても大きな意義を有する。とくに学生にとっては、実地においてリアルな課題に接することで、学びの意欲が刺激され、問題解決に向けた実践や提案等を通じて達成感と自己成長を得ることができる。

については、地域社会の抱える課題について、大学の知的資源を活かしながら貢献していくことは社会的責任でもあり、大学に対する社会の信頼性を高めていく上でも重要である。

については、学生・教職員の社会連携・産学連携の取り組みを学内外に効果的に発信していくことが、学外からのニーズを呼び込み、学生の参加者を増やすことにもつながるため、グループウェア、TKU ポータルなどの連絡手段に加えて、Twitter 等のソーシャルメディアの活用により、情報を広く早く学生や教職員の手元に届けることは重要である。

については、SDGs にかかわる諸テーマは、CRC が支援する活動に大いに関わるだけでなく、社会連携を進めていく上での共通の目標でもあり得る。その意味でも CRC が各主体をつなぐ役割を果たすなど、求められる役割は大きい。

以上の観点から、2024 年度もこの柱に基づき取り組みを継続したい。とりわけ 2024 年度は、対面による地域活動の全面的な再開の状況を受けて、その機会・機運を活かし学生・教職員の地域参加・地域貢献を推し進めることが求められる。

以下、～ の分野ごとに今年度のめざすべき課題を列挙する。

地域活性化等をめざした研究・交流の促進

- ・地域金融機関等の企画するコンペティション、アイデア・コンテストへの参加奨励
- ・ゼミの研究と結びつけた事業者との交流機会の創出
- ・地域連携推進協議会を通じた国分寺地域における GX の可能性の追究・実践活動

地域の課題に応え地域に貢献する協働事業の拡大

- ・国分寺周辺地域活動助成、学生地域参加活動助成の周知と利用拡大を後押しする
- ・コロナ下で停滞した市内清掃事業やシティ・セールス事業の再興を後押しする
- ・鉄道・駅ビル事業者との連携事業をさらに拡大していく
- ・まちづくり学生団体こくスマ！やボランティアサークルの活動支援、組織運営支援を強化する

学内外への情報発信

- ・ソーシャルメディアも活用しながら、確実に学生らに地域活動情報が伝わるような周知方法を徹底していく
- ・文字・写真にとどまらず、近年の学生に訴求する動画を活用した活動紹介も進め、学生に地域参加の魅力伝えていく
- ・大学広報とも連携し、本学の地域参加活動の魅力を伝える動画の作成を検討する
- ・昼休み講座「CRC カフェ」の開催頻度を拡大

SDGs の取り組みの推進

- ・SDGs 学生委員会による啓発の取り組みや具体的な事業の展開を支援していく
- ・国分寺地域における SDGs の取り組みにも呼応し、連携を強化していく
- ・SDGs にかかわる学内諸団体、教職員等の取り組みとも連携し、支援していく

以上

(2)行事一覧

委員会

| 開催日時 | 内 容 |
|------------|------------------------------------|
| 2023. 4.20 | 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会 第 28 回協議会運営委員会 |
| 2023. 5.30 | 第 22 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会 |
| 2023. 6. 7 | 2023 年度 第 1 回 地域連携センター運営委員会 |
| 2023. 7. 7 | 第 33 回 国分寺地域総合学習委員会 |
| 2023. 7.13 | 第 1 回 国分寺地域産業研究委員会 主催研究会 |
| 2023.11.15 | 2023 年度 第 2 回 地域連携センター運営委員会 |
| 2023.11.22 | 2023 年度 地域インターンシップ成果報告書 |
| 2023.12.12 | 2023 年度 学生の地域貢献 活動報告会 |
| 2024. 3. 1 | 第 34 回 国分寺地域総合学習委員会 |
| 2024. 3.22 | 地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会 |
| 2024. 3.26 | 第 2 回 国分寺地域産業研究委員会 |
| 2024. 3.28 | 2023 年度 第 3 回 地域連携センター運営委員会 |

シンポジウム、イベント他

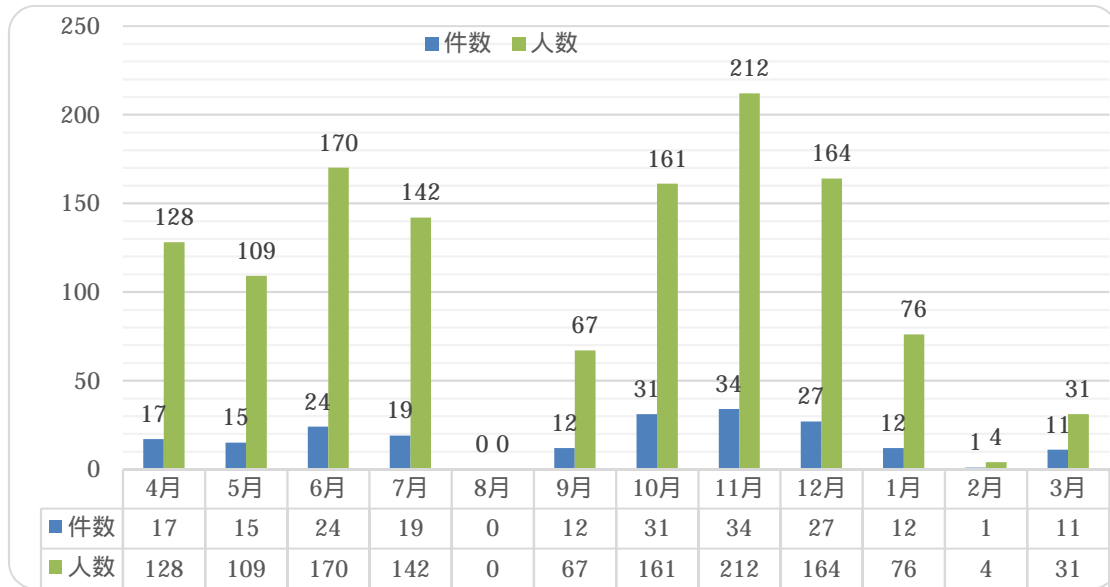
| 開催日時 | 内 容 |
|-------------|--|
| 2023. 6.22 | 2023 年度第 1 回 CRC Café ワークショップ「押し花 透明なしおり」 |
| 2023.10. 4 | 西武信用金庫「知財活用スチューデントアワード 2023」 学内選考会 |
| 2023.10.19 | 西武信用金庫「知財活用スチューデントアワード 2023」 中間発表会 (オンライン) |
| 2023.11.4~5 | 第 124 回 葵祭 |
| 2023.12. 6 | 2023 年度 第 1 回東京経済大学 SDGsシンポジウム 学術講演会 「水俣」を語ろう - アイリーン・スミスさんをお招きして - |
| 2023.12.11 | 西武信用金庫「知財活用スチューデントアワード 2023」 本選 |
| 2024. 1.17 | 2023 年度 第 2 回東京経済大学 SDGsシンポジウム 地域活性化×SDGsフォーラム ～国分寺物語、TFT プロジェクト、お菓子プロジェクトなどからみる地域活性化～ |
| 2024. 1.19 | 2023 年度第 2 回 CRC Café カフェから国分寺は創られる |



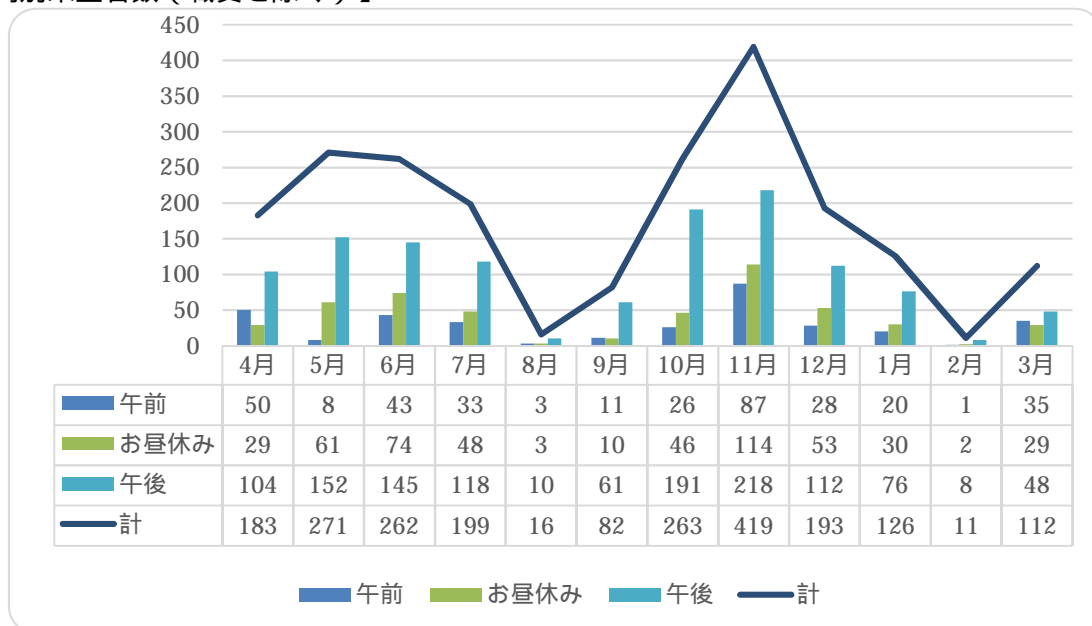
(3) 地域連携センター利用状況

【会議・作業スペース月別利用数】

学 生：尾崎寛直ゼミ、鈴木恒雄ゼミ、鈴木恒雄特別ゼミ、こくスマ！、SDGs 学生委員会、常森祐介ゼミ、Clover、落語研究会、TKU Unlimited 他
 学外者：国分寺市（政策経営課、経済課、環境経営課、まちづくり推進課、国分寺市商工会、国分寺マルイ、日ノ出町役場、もとまち公民館、西武信用金庫、多摩信用金庫、三井住友銀行 他



【時間別来室者数（職員を除く）】



(4) 情報発信

大学ホームページへのニュース掲載

| 年月日 | タイトル |
|------------|--|
| 2023.4.13 | 正門から続く並木道が幻想的な空間に「Welcome light up!!」開催中 |
| 2023.4.29 | 西武信用金庫より「地域みらいプロジェクト」助成金を受け取りました |
| 2023.5.26 | 5/27(土)・28(日)の週末はこくフェスへ。学生団体「こくスマ！」が国分寺駅北口広場でワークショップを開催 |
| 2023.5.29 | マラカズづくりが大好評 学生団体と地域がつくる音楽イベント「こくフェス」が閉幕 |
| 2023.5.30 | 【予告 6/5(月)】経済学部尾崎ゼミが就労支援施設と共同でクッキーを販売 |
| 2023.6.6 | ～若者らも国分寺を盛り上げる～ぶんじコンシェルジュの研修が行われました |
| 2023.6.9 | 「国分寺レイディオ」第1シーズン公開中 地域連携センター発国分寺を深く知るポッドキャスト |
| 2023.9.5 | 9/9(土)開催 西国分寺駅50周年記念フェスティバル 本学学生が出演・参加します |
| 2023.9.13 | 鈴木特別ゼミとボンパドゥルのコラボパン3種が国分寺マルイで9/19(火)まで販売中 |
| 2023.10.19 | 【10/18～11/1】新次郎池ライトアップ～煌めく森と池～開催 |
| 2023.11.10 | 色づく東経大の秋 イチョウ並木ライトアップ 11/29まで開催中 |
| 2023.11.16 | 国分寺のOI(おい)しいをお届け 11/18・19は「こくめし」参加店舗の漬け焼きが国分寺マルイに集結 |
| 2023.11.17 | 国分寺を楽しみつくす2週間「ぶんぶんウォーク」がスタート 週末は学生たちが各所でイベントを開催 |
| 2023.11.21 | 【読売 11/21】国分寺 東経大生がご案内 学生団体「こくスマ！」の活動が紹介 |
| 2023.11.21 | 国分寺のOI(おい)しいをお届けしました！催事2日間でこくめし180食、コラボパン280個を販売 |
| 2023.11.28 | 【12/6開催】映画『MINAMATA』の上映とアイリーン・スミス氏を迎え「水俣」を考えるSDGsシンポジウムを開催 |
| 2023.12.12 | 「水俣を知ってほしい」アイリーン・スミス氏が参加者と熱く語り合う～『水俣』を語ろう。を開催 |
| 2023.12.19 | 経営学部北村真琴ゼミが最優秀賞、小木紀親ゼミが優秀賞受賞 知財活用スチューデントアワード2023 |
| 2023.12.22 | 【センター日記 更新】カレイラゼミ×英語アドバンスプログラムの地域貢献活動「英語で遊ぼう！」 |
| 2024. 1.26 | 東京経済大学のサークル・ゼミが、2023年度の活動収益を国分寺市社会福祉協議会へ寄付 |
| 2024. 3.22 | 【3/15TBS】鈴木特別ゼミが国分寺マルイとコラボした「こくまるパンフェスティバル」が紹介 |

TKUポータル(学生向け)、サイボウズ掲示板(教職員向け)での情報発信

| 年月日 | カテゴリー | タイトル |
|------------|----------------|--|
| 2023. 4. 3 | その他 | 2023年度「国分寺周辺地域活動」「学生の社会貢献活動」助成金 企画募集について |
| 2023. 4. 6 | 立川地域情報 | 立川商工会議所「第5回立川プレゼンプロジェクト」のお知らせ |
| 2023. 4. 6 | 地域連携センター | 地域連携センターリーフレット 2023-2024(VOL.5)発行のお知らせ |
| 2023. 4. 6 | 鈴木特別ゼミ×こくスマ!情報 | Welcome light up!!(鈴木特別ゼミ×こくスマ!)開催のお知らせ |

| | | |
|------------|---------------------|---|
| 2023. 4.20 | その他 | SDGs 学生委員会「新入生説明会」のお知らせ |
| 2023. 4.25 | 学生の地域活動 | 小木ゼミ「ぶんぶんキャラベリー」販売のお知らせ |
| 2023. 4.26 | その他 | 西武信用金庫「第 17 回東京発！物産・逸品・web モール」開催のお知らせ |
| 2023. 4.27 | 国分寺地域情報 | 「こくフェス 2023」開催のお知らせ |
| 2023. 5.12 | 国分寺地域情報 | こくカレ説明会・参加者募集のご案内 |
| 2023. 5.19 | 国分寺地域情報 | 第 39 回 本多公民館「新緑まつり」開催のお知らせ |
| 2023. 5.24 | 鈴木特別ゼミ情報 | 鈴木特別ゼミ・キニョンチーム「東経大名物パンプロジェクト」アンケート協力依頼 |
| 2023.5.24 | その他 | 2023 年度「知財活用スチューデントアワード」参加チーム募集のご案内(西武信用金庫連携事業) |
| 2023. 5.29 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 1 回クッキー販売会開催のお知らせ |
| 2023. 5.29 | 国分寺地域情報 | 国分寺地域音楽イベント「こくフェス」が天候に恵まれ盛況のうちに終了 |
| 2023. 6. 2 | 国分寺地域情報 | 国分寺人権平和課男女共同参画講座「北欧の絵本に触れて考える「ジェンダー・多様性・自分らしさ」 |
| 2023. 6.14 | 鈴木特別ゼミ キニョンチーム情報 | キニョンチーム「スコーンガチャ」開催のお知らせ |
| 2023. 6.22 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 2 回目クッキー販売会開催のお知らせ |
| 2023. 6.26 | 鈴木特別ゼミ キニョンチーム情報 | キニョンチーム「東経大名物パンプロジェクト」前期アンケートの結果報告 |
| 2023. 6.26 | 国分寺地域情報 | 「トマトフェスタ 2023～こくベジマトの旬を味わう 13 日間～」開催のお知らせ |
| 2023. 6.29 | 学生の地域活動 | TKU Unlimited「オシャレなフードドライブを考えよう」開催のお知らせ |
| 2023. 6.29 | 地域連携センター | 2023 年度第 1 回 国分寺地域産業研究委員会主催研究会開催のお知らせ |
| 2023. 7. 6 | 国分寺地域情報 | 「じぶん × 未来 × ぶんじ～自分ごととして考える未来の国分寺の環境について」参加募集 |
| 2023. 7.10 | 尾崎ゼミどーむ班情報 | 尾崎ゼミどーむ班 第 1 回シフォンケーキ等スイーツ販売会開催のお知らせ |
| 2023. 7.10 | 学生の地域活動 | 小木ゼミ × TABLE FOR TWO × 生協 7/10 より開始 |
| 2023. 7.14 | 国分寺地域情報 | こくスマ！と殿ヶ谷庭園のコラボイベント「殿ヶ谷戸庭園でしおりづくり」開催のお知らせ |
| 2023. 7.15 | 鈴木ゼミ情報 | 第 6 回国分寺お店大賞～キラリ個性ピカリ個店 2023～ 8/1 より投票開始 |
| 2023. 7.15 | 鈴木ゼミ情報 | 国分寺お店大賞キャラクター募集のお知らせ |
| 2023. 7.19 | その他 | 常森ゼミ「子どもフェスティバル」へのバザー物品ご協力依頼 |
| 2023. 7.19 | 学生の地域活動 | こくスマ！「2023 年度葵祭フリーマーケット」出品物ご提供のお願い |
| 2023. 7.26 | 学生の地域活動 | 9/9(土)西国分寺駅 50 周年記念駅前フェスティバルのボランティア募集 |
| 2023. 8. 1 | 国分寺地域情報 | JR 西国分寺駅開設 50 周年記念イベントに本学のゼミやサークルも参加 |
| 2023. 8. 1 | 鈴木ゼミ情報 | 本日より第 6 回国分寺お店大賞の投票開始 |
| 2023. 8. 4 | 多摩地域情報 | 国分寺市人権平和課より若年層セクシュアル・マイリティ居場所事業「にじーず多摩」 |
| 2023. 8.17 | 国分寺地域情報 | 地域連携講座「第 12 回 市民のための契約法講座」開講のお知らせ |
| 2023. 8.30 | 鈴木ゼミ情報 | 第 6 回 国分寺お店大賞～キラリ個性ピカリ個店 2023～ 8/31 投票締切日 |
| 2023. 8.31 | 鈴木特別ゼミ情報 | 鈴木特別ゼミ × 国分寺マルイ コラボイベント「こくまるパンフェスティバル」開催 |

| | | |
|------------|---------------------|--|
| 2023. 8.31 | 国分寺地域情報 | 「第2次国分寺市総合ビジョン」の策定に向けた若者ワークショップ開催 |
| 2023. 9. 5 | 国分寺地域情報 | まちの未来をつくる事業アイデアのプレゼンテーション会「国分寺スタジアム」開催 |
| 2023. 9. 8 | 国分寺地域情報 | JR 西国分寺駅 50 周年記念 駅前フェスティバル明日(9/9)開催 |
| 2023. 9.11 | 学生の地域活動 | こくスマ!「2023 年度葵祭フリーマーケット」出品物ご提供のお願い2 |
| 2023. 9.11 | 国分寺地域情報 | JR 西国分寺駅 50 周年記念イベントは予想を上回る来場者、本学関係イベントも大盛況 |
| 2023. 9.12 | 鈴木特別ゼミ情報 | 「こくまるパンフェス」 明日から開催、ゼミ生がパンパドルと開発したパン3 種を販売 |
| 2023. 9.25 | 学生の地域活動 | 常森ゼミ「子どもフェスティバル」バザーへの物品提供ありがとうございました |
| 2023.10.11 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 3 回クッキー販売会開催のお知らせ |
| 2023.10.17 | 国分寺地域情報 | 人権平和課より国際男性デーにあわせたオンライン講座開催のお知らせ |
| 2023.10.19 | 鈴木特別ゼミ×こくスマ情報 | 秋を味わうライトアップ企画第 1 弾～煌めく森と池～新次郎池周辺にて開催 |
| 2023.10.23 | 鈴木ゼミ情報 | 第 6 回国分寺お店大賞表彰式は 10/22cocobunji プラザ5階リオンホールにて開催 |
| 2023.10.23 | 鈴木特別ゼミ キニョンチーム情報 | 鈴木特別ゼミ・キニョンチームより、パン総選挙アンケートへの協力依頼 |
| 2023.10.24 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 2 回シフォンケーキ等スイーツ販売会開催のお知らせ |
| 2023.10.26 | 鈴木特別ゼミ こくめしチーム情報 | 「こくめし」開催のお知らせ |
| 2023.11. 7 | 鈴木特別ゼミ情報 | 鈴木恒雄特別ゼミ×国分寺マルイ「国分寺の OI(おいしい)をお届け!」開催 |
| 2023.11. 8 | 鈴木特別ゼミ×こくスマ情報 | 秋を味わうライトアップ企画第 2 弾「誰かと見たい秋がココにある 銀杏並木ライトアップ」開催 |
| 2023.11. 9 | 鈴木特別ゼミ情報 | 鈴木特別ゼミ「推しのパン祭り」開催のお知らせ |
| 2023.11.10 | その他 | 12/62023 年度第 1 回 東京経済大学 SDGs シンポジウム 学術講演会 「『水俣』を語ろう - アイリーン・スミスさんをお招きして -」開催 |
| 2023.11.13 | 鈴木ゼミ情報 | 「国分寺お店大賞 公式マスコットキャラクター」の投票依頼 |
| 2023.11.14 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 4 回目クッキー販売会開催のお知らせ |
| 2023.11.17 | 国分寺地域情報 | 「ぶんぶんウォーク」開催のお知らせ |
| 2023.11.17 | 多摩地域情報 | 「TAMA INNOVATION IDEA CAMPUS」開催のお知らせ |
| 2023.11.28 | 鈴木特別ゼミ キニョンチーム情報 | 鈴木特別ゼミ・キニョンチーム「推しのパン祭り」は明日明後日に開催 |
| 2023.12. 7 | 鈴木特別ゼミ キニョンチーム情報 | 鈴木特別ゼミ・キニョンチームよりアンケートご協力をお願い |
| 2023.12. 7 | その他 | 東京経済大学 SDGs シンポジウム 学術講演会 「『水俣』を語ろう - アイリーン・スミスさんをお招きして -」は 180 名程の方にご参加いただき成功裏に終了 |
| 2023.12.11 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 5 回目クッキー販売会開催のお知らせ |
| 2023.12.12 | その他 | 2023 年度「知財活用スチューデントアワード」本選で本学から出場した 2 チーム受賞 チームろくまるが最優秀賞、チーム入口が優秀賞 |
| 2023.12.19 | 国分寺地域情報 | 第 45 回こくぶんじ写真コンクール作品募集のお知らせ |
| 2023.12.22 | 国分寺地域情報 | 落語研究会がセレオ国分寺にて「新春ぶんじ寄席」を開催 |
| 2024. 1.11 | その他 | 2023 年度第 2 回東京経済大学 SDGs シンポジウム Nipponia Nippon×小木紀親ゼミナール「地域活性化 × SDGs フォラム～国分寺物語、TFT プラザ外、お菓子プロジェクト外などからみる地域活性化～」開催 |
| 2024. 1.11 | 尾崎ゼミともしび班情報 | 尾崎ゼミともしび班 第 6 回クッキー販売会開催のお知らせ |

| | | |
|------------|---------------------|---|
| 2024. 1.11 | 地域連携センター | 地域連携センター CRC カフェ「カフェから国分寺は創られる」開催のお知らせ |
| 2024. 1.12 | 尾崎ゼミドーム班情報 | 尾崎ゼミドーム班 第3回スイーツ販売会開催のお知らせ |
| 2024. 1.17 | 鈴木特別ゼミ情報 | キニョンチーム「東経大名物パン開発プロジェクト」後期アンケート結果報告 |
| 2024. 1.17 | 国分寺地域情報 | 国分寺市現庁舎用地複合公共施設ワークショップのお知らせ |
| 2024. 1.26 | 国分寺地域情報 | 第10回国分寺の未来を考えるシンポジウム 子どもを育む国分寺 Part2 開催のお知らせ |
| 2024. 3. 8 | 多摩地域情報 | 「多摩地域あるある川柳 2024」開催のお知らせ |
| 2024. 3.11 | 鈴木特別ゼミ キニョンチーム情報 | 鈴木特別ゼミ×国分寺マルチコラボイベント「こくまるパンフェスティバル」開催のお知らせ |
| 2024. 3.13 | 国分寺地域情報 | 史跡武蔵国分寺跡 桜ライトアップ開催のお知らせ |
| 2024. 3.15 | 鈴木特別ゼミ情報 | こくまるパンフェスティバルに参加している鈴木特別ゼミ生がTBS「Nスタ」の取材を受けました |
| 2024. 3.25 | 地域連携センター | 地域産業研究委員会主催研究会開催のお知らせ |

X(@tku_crc)での情報発信

| 年月日 | 内容 |
|------------|---|
| 2023. 4. 1 | 2023年度入学式開催 今年の入学式から校歌斉唱が復活 |
| 2023. 4. 5 | 新歓開催 本格的な新歓活動も復活 |
| 2023. 4.13 | 鈴木特別ゼミ×こくスマ！による「Welcome Light up！」開催中 |
| 2023. 4.24 | SDGs 学生委員会が1年生対象の説明会を開催 |
| 2023. 4.26 | 西武信用金庫「地域みらいプロジェクト」助成金を今年もいただきました |
| 2023. 4.27 | 小木ゼミ「ぶんぶんキャラベリー」の学内販売が26日からスタート |
| 2023. 5.19 | 国分寺を紹介する音声番組「国分寺レイディオ」を始めました |
| 2023.5.19 | 本多公民館「新緑まつり」に経営学部・青木亮ゼミが「国分寺 LRT 計画」の再展示で参加 |
| 2023.6. 5 | 尾崎ゼミと「ともしび工房」による第1回焼き菓子販売会を葵陵会館前で実施 |
| 2023.6. 6 | ボランティアサークル Clover による「大学周辺清掃活動」が再開 |
| 2023.6.22 | 今年度第1回「CRC Café」を開催、キャンパス内の花や葉も使い、透明な菜づくりを行いました |
| 2023.6.28 | 鈴木特別ゼミ キニョンチームによる販売会「スコーンガチャ」開催 |
| 2023.7. 3 | 尾崎ゼミと「ともしび工房」による第2回焼き菓子販売会を葵陵会館前で実施 |
| 2023.7. 5 | 食品ロスプロジェクトチーム主催研究会「オシャレなフードドライブを考えよう」を実施 |
| 2023. 7. 7 | 渡邊・藤井ゼミによる「第2回 Let's 浴衣ですたでい」が開催 |
| 2023. 7. 7 | ボランティアサークル「Clover」が今年度第2回目の大学周辺清掃活動を実施 |
| 2023. 7.13 | 尾崎ゼミドーム班が「スイーツいずみ」の第1回焼き菓子販売会を葵陵会館前で実施 |
| 2023. 7.13 | 小木ゼミ「TABLE FOR TWO」活動が7/10から開始、販売1食につき20円を発展途上国へ寄付 |
| 2023. 7.27 | こくスマ！が殿ヶ谷戸庭園とコラボイベント「#殿ヶ谷戸庭園でしおりづくり」を開催 |
| 2023. 9. 6 | 9/9「西国分寺駅50周年記念 駅前フェスティバル」開催、こくスマ！、青木ゼミ、小木ゼミ、アカベラサークルとギタークラブが参加 |

| | |
|------------|---|
| 2023. 9.12 | 国分寺マルイ「こくまるパンフェスティバル」開催、鈴木特別ゼミ生がボンパドウルと協働開発したパン 3 種を販売 |
| 2023.10.13 | 鈴木特別ゼミ・こくめしチームによる「こくめし」告知看板が今年も1号館1階ロビーに出現 |
| 2023.10.16 | 尾崎ゼミと「ともしび工房」が第3回スイーツ販売会を葵陵会館前で実施 |
| 2023.10.18 | 鈴木特別ゼミとこくスマ！による新次郎池ライトアップ開始 |
| 2023.10.23 | 10/22 第6回国分寺お店大賞表彰式が開催 |
| 2023.10.23 | 第7回ぶんじハロウィンが4年ぶりに開催、「学生の地域貢献」の履修生もスタッフとして参加 |
| 2023.10.23 | 「こくまるパンフェスティバル」終了後も協働開発パン3種は国分寺マルイ B1 階ボンパドウルで販売継続中 |
| 2023.10.26 | 尾崎ゼミとむ班が本年度第2回スイーツ販売会を実施 |
| 2023.11. 2 | 立川南フェスタ 2023 の「たちモンクエスト に参加しよう！」等の講座に鈴木ゼミ生が参加 |
| 2023.11. 2 | 第40回国分寺まつりが4年ぶりに開催、こくスマ!は観光まちづくり協会のブースにて活動 |
| 2023.11. 2 | 第124回葵祭の準備日、模擬店は小木ゼミのこくベジを使った豚汁・じゃがバター等28店が出店 |
| 2023.11. 5 | 鈴木特別ゼミ・キニオンチーム「東経大名物パン開発プロジェクト」がキニオン東経本店と共同開発した新製品「チーズもっち」販売開始 |
| 2023.11. 5 | 4年ぶり開催の国分寺まつりは大盛況、こくスマ！は、缶バッジとビーズアクセサリー販売で参加 |
| 2023.11. 8 | 鈴木特別ゼミとこくスマ！によるライトアップ第2弾、イチョウ並木ライトアップが開始 |
| 2023.11.13 | 鈴木特別ゼミ×国分寺市商工会による「こくめし」が開始、今年度の共通テーマは「漬け焼き」。 |
| 2023.11.15 | SDGs 講演会「『水俣』を語ろう - アイリーン・スミスさんをお招きして - 」が12/6に開催 映画『MINAMATA - ミナマタ』上映とアイリーン・スミスさん講演の二部構成 |
| 2023.11.17 | 2023 ぶんぶんウォーク開催、こくスマが缶バッジ作成ワークショップ、SDGs 学生委員会がサステなぶんじ 2023 で参加 |
| 2023.11.20 | 11/18・19 国分寺マルイ×鈴木特別ゼミのコラボ企画「国分寺のO!(おいしい)をお届け！」開催 |
| 2023.11.21 | 11/21 読売新聞 多摩版で、ブンジコンシェルジュの活動を中心にこくスマ！が紹介 |
| 2023.11.21 | 尾崎ゼミともしび班が第4回クッキー販売会を実施 |
| 2023.11.24 | 「サステなぶんじ 2023」SDGs 学生委員会が「はいざい細工(サイクル)ワークショップ」を開催 |
| 2023.11.29 | 鈴木特別ゼミ・キニオンチームによる「推しのパン祭り」開催、パン総選挙上位3点と「チーズもっち」を販売 |
| 2023.12. 7 | 「水俣」を語ろう - アイリーン・スミスさんをお招きして - にご参加ありがとうございました |
| 2023.12.12 | 「知財活用スチューデントアワード」で、北村ゼミ「チームろくまるご」が最優秀賞を受賞 |
| 2023.12.18 | 尾崎ゼミともしび班が第5回クッキー販売会を実施 |
| 2024. 1. 5 | 東京経済大学落語研究会と各駅亭ごととさんによる「新春ぶんじ寄席」が1/6開催 |
| 2024. 1.15 | 尾崎ゼミともしび班が今年度最後の第6回クッキー販売会を実施 |
| 2024. 1.16 | 第2回 SDGs シンポジウム「地域活性化×SDGs フォーラム～国分寺物語、TFT プロジェクト、お菓子プロジェクトなどからみる地域活性化～」を1/17開催 |
| 2024. 1.18 | 尾崎ゼミとむ班が今年度最後の第3回スイーツ販売会、「太陽班」が組紐や革製品の販売会を実施 |
| 2024. 1.22 | 第2回 CRCCafé「国分寺企画 シリーズ国分寺を深く知る カフェから国分寺は創られる」を開催 |
| 2024. 1.25 | こくスマ！が、地域イベントでのワークショップや葵祭フリマなどによる2023年度売上金合計117,025円を国分寺市社会福祉協議会へ寄付 |
| 2024. 2. 2 | 国分寺お店大賞の公式マスコットキャラクターが「もくまる」に決定 |

| | |
|------------|---|
| 2024. 3.13 | 「第9回こくまるパンフェスティバル」開催、鈴木特別ゼミ生がボンパドウルと協働開発したパン3種を販売 |
| 2024. 3.23 | 2023 年度卒業式開催 |

メディア掲載

| 年月日 | 内容 |
|------------|--|
| 2023.11.21 | 読売新聞 多摩版に「ぶんじコンシェルジュ」をはじめとした「こくスマ！」の活動が掲載 |
| 2024.03.15 | TBS テレビ「Nスタ」に、鈴木恒雄特別ゼミ生がボンパドウル国分寺マルイ店と協働開発したオリジナルパン3種を協働で開発・販売する「第9回こくまるパンフェスティバル」について取材を受け、放送 |

展示パネルでの情報発信

地域連携センター内外の掲示板に、学生の活動の様子を中心にパネルにまとめて展示しました。



「国分寺を知るためのブックガイド」

地域連携センター前で国分寺の自然などについて書かれた本を紹介する展示を行いました。

| 展示日 | タイトル | 展示した本 |
|--------------|-----------|--|
| 2022. 6.16 ~ | 国分寺の自然を描く | 『野川』『武蔵野夫人』『たんぼぼハウスの出来るまで』 『たまらん坂 武蔵野短編集』『私の日本地図 10 武蔵野・青梅』 |



(5)地域連携センター運営委員会

| 開催日時・場所 | 議題 |
|---|---|
| <p>第 1 回 2023. 6. 7 321 研究集会室</p> | <p>【審議事項】 1. 2023 年度「国分寺周辺地域活動費」助成企画の選考について 2. 2023 年度「学生の社会貢献活動に対する助成金」企画の選考について 3. 2023 年度自己点検・評価について 4. 「こくスマ！」の位置付けについて 5. その他 【報告事項】 1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会について 2. 西武信用金庫「地域みらいプロジェクト」について 3. 2023 年度の新規イベント等について 4. 地域連携センター・フォーラムについて 5. 各委員報告 6. その他</p> |
| <p>第 2 回 2023.11.15 321 研究集会室</p> | <p>【審議事項】 1. 2024 年度地域連携センター予算要求について 2. 地域みらいプロジェクト(西武信用金庫寄付金)の用途について 3. その他 【報告事項】 1. 私立大学等改革総合支援事業「タイプ3(地域社会への貢献)」について 2. 西武信用金庫連携事業「知財活用スチューデントアワード」について 3. 「『水俣』を語ろう - アイリーン・スミスさんをお招きして」の開催について 4. 2023 年前半の地域活動について 5. 2023 年度「ぶんぶんウォーク」の開催について 6. 2023 年度地域インターンシップ成果報告会の開催について 7. 各委員報告 8. その他 本学のボランティア保険等の状況について</p> |
| <p>第 3 回 2023. 3. 28 中 4 会議室</p> | <p>【審議事項】 1. 2024 年度事業方針について 2. 2024 年度「国分寺周辺地域活動費」助成企画の募集について 3. 2024 年度「学生の社会貢献活動助成金」企画の募集について 4. まちづくり団体こくスマ！の規約案について 5. 地域ボランティア活動に関する規定案について 6. その他 【報告事項】 1. 2023 年度国分寺周辺地域活動実施報告 2. 2023 年度学生の社会貢献活動に対する助成実施報告 3. 2023 年度「知財活用スチューデントアワード」結果報告 4. 地域連携支援特命講師の 2023 年度特命業務報告 5. 2023 年度自己点検・評価について 6. 2023 年度年次報告書について 7. 2024 年度予算について 8. 地域みらいプロジェクト(西武信用金庫寄付金)について 9. 2024 年度ぶんじコンシェルジュ事業に関する協定について 10. 国分寺地域産業研究委員会主催研究会のお知らせ 11. こくスマ！2023 年度活動報告について 12. 2024 年度地域連携協議会主催フォーラムの開催について 13. その他</p> |

(6)特命講師の活動実績

経済学部 特命講師 鈴木 恒雄

2023（令和5）年度 特命業務の活動実績報告

地域連携センター業務の一環として地域へ本学の学生を送り出し、実学の間を提供すると共に、地域における本学の存在価値の向上を図るためを目的とする。学生が街づくりサポーターとして地域で能動的に活動できるよう構築したプラットフォーム組織「グリーンプライド」を軸足とし、ボランティアサークル「こくスマ！」を中心に下記のとおり公益性に資する活動を推進した。

記

1. 「グリーンプライド」における地域活動

(1) 国分寺市案内所における「ぶんじコンシェルジュ」活動

平日の17時～19時、国分寺市案内所にこくスマ！の学生が常駐して施設案内する「ぶんじコンシェルジュ」活動は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、これまでで感染拡大防止のために講じてきた飛沫防止シートや除菌シートの設置及び換気対策を廃止した。また、コロナ禍でも継続し続けた当活動が読売新聞の記事（11月21日）にて「国分寺 東経大生がご案内」と題して取り上げられた。



読売新聞取材時の
ぶんじコンシェルジュ活動



ただし、平時の稼働率へ戻すべく、部員のシフト募集を強化しているものの、長期休み期間中の稼働には課題が山積している。

読売新聞記事紙面
(11月21日)

(2) 「ぶんじコンシェルジュ」基礎研修の開催

当活動に先立ち、当コンシェルジュの認定者をこくスマ！から輩出するため、対面によるぶんじコンシェルジュ研修と認定式を開催した。こくぶんじ観光まちづくり協会の前会長である星野氏による講義を5月31日に開催した。修了した約40名が「ぶんじコンシェルジュ」として認定された。



ぶんじコンシェルジュ
研修の風景



2. こくスマ！による地域活動

(1) 「こくフェス」の開催

昨年度に立ち上がった国分寺市内の音楽イベント「こくフェス」の開催にこくスマ！も参画した。国分寺市を始め、関係団体とこくスマ！による実行委員会を組織化し、企画の検討や運営を担い、本学の音楽系サークルの出演を取りまとめた。さらに、当日の運営スタッフとして、clover から 20 名近い人員を確保した。開催日 5 月 27 日、28 日は、市内に点在する公共施設を音楽会場とする他、こくスマ！では、回誘客を対象とした「ペットボトルを使ったマラカス作りワークショップ」を国分寺駅北口広場にて催した。ブースには数多くの家族連れが訪れ、コロナ禍で停滞していた市内の活気を取り戻すイベントとなった。2 日間で延べ約 80 名の子供達が参加し、8,200 円の売上を計上した。運営を担った本学におけるボランティア活動の周知に大きく寄与した。



ブースの様子

参加者

(2) 「#殿ヶ谷戸庭園でしおりづくり」の開催

都立庭園である殿ヶ谷戸庭園が、学生との連携を企図した街歩きマップ「武蔵野リトルマップ」を制作したことを機に、庭園を活用したこくスマ！との共同イベントを開催した。庭園側と学生による検討会議を 5 回重ね、展示室にて庭園の草花を使用したラミネートしおりづくりワークショップを 7 月 29 日、30 日に開催した。持ち込んだラミネート機械が熱故障するトラブルに見舞われたが、19 名が参加した。なお、当事業は東京都の規定により、主催者である殿ヶ谷戸庭園が売上金を計上する代わりに、謝金 10,775 円を当公園より受領したため、寄付金に充当する。



ワークショップの様子

学生が作成した告知チラシ

(3) 「西国分寺駅開業 50 周年記念イベント」へ参加

西国分寺駅開業 50 周年を記念して、市と JR 中央線コミュニティデザインが駅通路や駅周辺施設にてイベントを 9 月 9 日に共催した。こくスマ! は、市立いずみホール前にブースの設置に加え、当ホールではアカペラサークルやギターサークルを出演させた。ブースでは、学生が開業を記念したデザインを考案し、オリジナルの缶バッジづくりワークショップ(1 回につき 100 円で 2 個製作)や完成缶バッジ販売を催した。約 260 名の家族連れが訪れ、26,700 円の売上を計上した。 下記写真は開催時の様子。



ブースの様子



缶バッジワークショップ



(4) 「ぶんぶんうおーく」へ参加

こくぶんじ観光まちづくり協会とこくスマ! の共同企画として、「ぶんぶんうおーく」に 11 月 18 日、19 日、cocobunji セミナールームにてブース出店した。国分寺ファンバッジやオリジナルしおりづくりワークショップを催しつつ、国分寺の魅力発信及び「ぶんじコンシェルジュ」の認知度向上を図った。ファミリー層を中心とした多数の参加者を集め、3,350 円の売上を計上した。さらに、在庫の缶バッジは日立研究所庭園開放日にて、こくぶんじ観光まちづくり協会によって 8 個販売いただき、売上 400 円を計上した。



ブースの様子



しおりづくりワークショップ



参加した子供たち

(5) 国分寺まつりへの参加

4 年ぶりに国分寺まつりが 11 月 5 日に再開され、こくスマ! はこくぶんじ観光まちづくり協会のブースにて手作り装飾品や国分寺ファンバッジの物販を行った。9,200 円の売上を計上した。



(6) 葵祭における地域枠へ参加

第124回葵祭(11月4日、5日)では、葵陵館1、2階フロアを地域枠として葵祭実行委員会から間借りし、活発な地域活動している団体の出展に限定したエリアを創出。こくスマ!では、フリーマーケットに加え、射的ゲームを催した。本学教職員に向けて不要になった未使用品の回収を呼びかけ、多数の掘り出し物を陳列することができた。1回100円の射的には子供や学生の行列ができるほど人気を博した。葵祭におけるブースでは、売上58,300円を計上した。



フリーマーケット



射的ブース

3. 夏合宿

本学の前身である大倉商業学校の祖、大倉喜八郎の生誕地である新発田市にて8月23日、24日(一泊二日)の夏合宿を実施した。国分寺市で地域連携の一端を担うこくスマ!と新発田市がまちづくり活動について交流を深める場を設けた。交流会には、新発田市職員をはじめ、地元で街づくり活動している敬和学園大学のゼミが参加し、双方の活動報告やディスカッションを行い、今後の活動における課題などについて共有することができた。



こくスマ!の活動発表



敬和学園大学の活動発表



参加者の集合写真

4. 国分寺市社会福祉協議会への寄付活動

上記の地域活動を通じて得られた収益金の合計 117,025 円は、2024 年 1 月 24 日にこくスマ！の代表及び直前代表が国分寺市社会福祉協議会へ全額寄付した。なお、収益金の明細は下記を参照。



収益金を国分寺市社会福祉協議会へ寄付

< 2023 年度 収益金の内訳 >

| | |
|---------------------------|---------------------|
| こくフェス (5/27,28) | 8,200 円 |
| # 殿ヶ谷戸庭園でしおりづくり (7/29,30) | 10,775 円 |
| 西国分寺駅開業 50 周年記念イベント (9/9) | 26,700 円 |
| 葵祭でのフリーマーケットなど (11/4,5) | 58,300 円 |
| 国分寺まつり (11/5) | 9,200 円 |
| ぶんぶんウォーク (11/18,19) | 3,350 円 |
| 日立研究所内庭園開放 (12/9) | 400 円 |
| | 上記活動外雑収入 100 円 |
| | 合計 117,025 円 |

(7) 地域連携センターイベント

【お昼休み講座 CRC カフェ】

| 開催日時・場所 | 内容 |
|-------------------------------|--|
| 第1回 2023. 6.22 地域連携センター | 参加人数： 6人 講師：松井 美和 氏（押し花アーティスト/ salvawork 主宰） 【タイトル】ワークショップ 透明な押し花しおり 【内 容】 「押し花絵画創造展18回」で特賞に輝いた押し花作家・松井美和さんを講師にお招きし、初めての人にも作れる「押し花しおりづくり」の基礎ワークショップを開催した。 「こくスマ！」メンバーが受講し、「東経の森」の植物採取から始まり葉や花の乾燥の仕方、ラミネート加工でつくる「透明なしおり」のプロセスを学んだ。 |
| 第2回 2024. 1.19 地域連携センター | 参加人数： 4人 講師：笹川 克也（地域連携センター） 【タイトル】国分寺企画 シリーズ国分寺を深く知る 「カフェから国分寺は創られる」 【内 容】 「カフェ」という視点から、国分寺のまちに流れる独自の文化について、歴史と現在の状況などを説明した。60年代のヒッピーたちが作った「ほら貝」70年代の村上春樹さんの「ピーターキャット」や中山ラビさんの「ほんやら洞」、現在の国分寺のカフェ文化の中心となっている「カフェスロー」「クルミドコーヒー」「おたカフェ」などについて紹介。 |

・地域連携

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

(1) 協議会

| 会議 | 開催日時・場所 | 協議内容等 |
|--------|--|--|
| 第 22 回 | 2023(令和 5)年 5 月 30 日 進一層館 地下 1 階 会議室 | 協議会委員と専門委員会委員の交代について 2022(令和 4)年度専門委員会の事業報告について 2023(令和 5)年度専門委員会の事業計画について |

(2) 協議会運営委員会

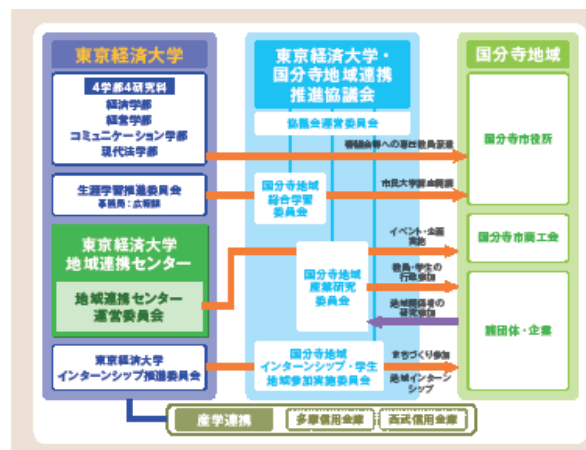
| 会議 | 開催日時・場所 | 協議内容等 |
|--------|---|--|
| 第 28 回 | 2023(令和 5)年 4 月 20 日 東京経済大学 6 号館 7 階 小会議室 | 委員交代と委員会の構成について 2022(令和 4)年度専門委員会の事業報告について 2023(令和 5)年度専門委員会の事業計画について 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会(第 22 回)の開催について その他 |

(3) 国分寺地域産業研究委員会

| 会議 | 開催日時・方法 | 協議内容等 |
|-----|--|---|
| 研究会 | 2023(令和 5)年 7 月 13 日 1 号館 3 階 A301 教室 | 国分寺地域産業研究委員会主催研究会 「国分寺市国際協会による「内なる国際化」への対応 -現状・課題・今後に向けて」 |
| 研究会 | 2024(令和 6)年 3 月 26 日 6 号館 3 階 F301 教室 | 国分寺地域産業研究委員会主催研究会 「国分寺地域における各企業の『脱炭素の取り組み』 について」 |

(4) 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

| 会議 | 開催日時・方法 | 協議内容等 |
|--------|--|---|
| 第 33 回 | 2024(令和 6)年 3 月 22 日 6 号館 3 階 F305 教室 | 委員の交代について 2023(令和 5)年度事業報告 2024(令和 6)年度事業計画他 東京経済大学の教育課程編成について |



2. 国分寺周辺地域活動費助成事業

(1) 小木ゼミ Web サイト「国分寺物語」及びこくベジを活用した国分寺周辺地域の活性化

経営学部教授 小木 紀親

期間：2023年4月1日（土）から2023年2月29日（木）まで

2023年度の活動は、コロナ明けで全面的な対面での活動となった。その中でも下記の企画の実施による成果が得られた。また、本年度は、シンポジウムを開催したが、SDGs推進委員会との共催となり、資金をそちらから援助していただいたため、本年度はこちらの活動資金を使うことがなく、終了したことを付記しておく。本年度の成果については、次のとおりである。

Web サイト「国分寺物語」の企画・運営・執筆・情報配信（およそ月に1回ほど、ゼミ学生により Facebook や twitter を更新）を行い、もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。常時、国分寺市役所と連携し、国分寺市の地域活性化に寄与した。また、ぶんぶんウォークに延べ20名ほどがボランティアスタッフとして参加して、運営に携わった。

本年度は「こんなお菓子あったらいいなP」及び「国分寺物語シンポジウム」などにおいてゲストスピーカーの講演を招聘し、オープンゼミにもして開催した。

国分寺市及び国分寺市観光協会主催「こくぶんじ写真コンクール」の審査員としてのゼミ生が参加し（2月）、同コンクール内の「国分寺物語賞」の選考を行った。

多摩大学「アクティブラーニング祭」で一部「国分寺物語」などのコラボ活動の報告を行った（12月）。

TFT（テーブルフットゥー）のプロジェクト（売上1食あたり20円をアフリカの子供たちの給食費に寄付）において、TFT・生協とのコラボで健康ランチの提案及びプロモーションを行い、生協食堂にてコロナ禍の中でも一定の売り上げをあげた。

西武信用金庫「知財活用アイデアコンテスト」の本選に出場し、準グランプリを獲得した。

お菓子コラボでは、JR東日本×アンビー×小木ゼミによる国分寺のお土産開発及び販売を行った（12月22日の1日の売り上げ15万円を記録した）。オープンキャンパス及び西国分寺駅祭りでキャラベリーの販売を行い、完売させた。



SDGs シンポジウム



TFT プロジェクト



西国分寺駅お土産開発プロジェクト

(2) 青木ゼミ ゼミ展示会の開催

経営学部教授 青木 亮

期間：2023年5月19日（金）から2023年11月12日（日）まで

本年度は、5月19日（金）から21日（日）の3日間行われた「第39回本多公民館新緑まつり」への参加、9月9日（土）に「中央線！武蔵野線！西国分寺駅50周年記念駅前フェスティバル」への参加、11月11日（土）と12日（日）に国分寺市本多公民館でゼミ展示会を実施した。

5月開催の新緑まつりへの参加は、前年度のゼミ展示会（国分寺LRT計画）の内容を再構成したパネル展示を2階エレベーター前にて行った。パネル展示と共に、前年度の1月後半から他の参加団体と協力して準備に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営、撤去に協力した。参加団体の構成員に高齢者が多いこともあり、パネルや椅子、机の移動を伴う会場設営作業では、体力のある学生の参加は多くの方から喜ばれた。

9月開催の西国分寺駅50周年記念駅前フェスティバルは、JR中央線コミュニティデザインと国分寺市の主催で実施されたイベントで、先方からの依頼を受けて参加した。当日は子供向けにプラレール体験と、以前調査した内容を加筆修正した中央線高架化事業のパネル展示を行った。非常に大勢の参加者がイベントに来場され、当ゼミの展示にも合計1,822人（大人1,057人、子ども765人）が来られ、一時は展示室に人が入り切れないほどであった。

11月に行ったゼミ展示会は、2006年から継続しており、本年度は「国分寺超小型モビリティシェアリング計画」をテーマに国分寺市本多公民館集会展示室にて開催した。展示会では、超小型モビリティの概要や各地の導入事例、国分寺市内に導入する場合の試案や効果をパネルに展示した。2日間の開催であるが、延べ120人の市民に展示をご覧いただいた。

現在、2024年度（5月開催予定）の第40回本多公民館新緑まつりに向け、準備を進めている。



新緑まつりでの展示「国分寺 LRT 化計画」



西国分寺駅50周年記念駅前フェスティバル



国分寺超小型モビリティシェアリング計画

(3) カレイラ松崎順子 英語で遊ぼう - 日本文化を英語で -

全学共通教育センター教授 カレイラ松崎順子
期間:2023年12月18日(月)

内容に重点を置いた英語教授法は Content and Language Integrated Learning(CLIL)と呼ばれ、特に、児童の英語学習に効果的であるといわれている。よって、本活動では英語で日本文化を体験することを目的に国分寺市の児童に「英語で遊ぼう - 日本文化を英語で - 」という活動を行った。

* 募集方法と参加者

国分寺市の児童を対象にすべての児童館にチラシを配布し、さらに、市報に掲載して児童の募集を行った結果、12名の児童が応募したが、当日キャンセルがあり、実際に参加したのは10名の児童であった。本年度は少し広い場所であったため、保護者も参加していただき、保護者も入ると国分寺市民20名近くが参加した。

* 協力者と参加者

本企画は申請者カレイラ松崎順子と Advanced English を担当する本学の特任教員エリック先生とステファニー先生の3名で行った。さらに、学生ボランティアを Advanced English を履修している学生から募った。結果、10名の学生が参加を希望した。

* 当日の様子

以下の4つのスペースを作り順番に児童に体験してもらった。

- ・ゲームで英語を学ぼう!
- ・茶道を英語で学ぼう!
- ・折り紙を英語で学ぼう!
- ・羽子板で英語で遊ぼう!

地域連携・社会貢献からの成果

参加した児童は本学の学生と英語で楽しそうに羽子板を行ったり、折り紙を行ったり、ゲームを行ったり、お菓子を食ったり、お茶をたてたりしており、英語教育という観点から社会貢献できたことと思われる。特に、本学の中では英語力が高い Advanced の学生が参加し、特に、今年度は TOEIC800、900以上の学生が多かったため、流暢に英語でコミュニケーションを行っており、東経大の学生は英語ができるというイメージも与えることができたと思われる。

今回は会場も広かったので、保護者の方にも参加していただき、茶道を行っていただいたりした。国分寺市では、このような学生ボランティアによる英語活動というものがあまり行われていないので、参加した保護者から今後も続けてほしいという意見があった。



(4) 笹川 克也 ポッドキャスト番組「国分寺レイディオ」
第2シーズン「『カフェ』から国分寺は創られる」制作と発信

地域連携センター 笹川 克也

期間:2023年11月3日(金・祝)から2024年3月1日(金)まで

3/1 現在、全5回(予定)の番組録音が終了し編集中である。

内容については、「『カフェ』から国分寺は創られる」を総合テーマに、「カフェ」という視点から、国分寺のまちに流れる文化や精神といったものを浮かび上がらせることを目的としている。

具体的には、国分寺の「カフェ」の歴史、現在の状況(他のまちにくらべて活況を呈している理由)、サードプレイスとしての「カフェ」の可能性などについて、2023年11月に誕生した「喫茶ソラクラゲ」の共同経営者3名(全員20代半ば)をゲストに迎え、テーマごとに話し合った内容を編集し音声番組とした。

全5回の番組のタイトルは以下のとおり。

- 第1回 国分寺に「カフェ」をつくる
- 第2回 国分寺のまちに流れる「カフェ」文化
- 第3回 2008年からの始まり
- 第4回 発信するサードプレイス
- 第5回 どのようなサードプレイスを目指すのか？

編集が終了したものから、2022年度と同様、広報課の協力により、本学公式ウェブサイトの「国分寺を深く知る」(国分寺学派の頁の下部)に3月下旬以降順次掲出を予定している。



「喫茶ソラクラゲ」共同経営者との番組録音風景

3. 学生の社会貢献活動助成

(1) 子どもフェスティバル、クリスマス会

常森ゼミ有志 榎本 壮馬

期間：2023年9月2日(土)から2023年12月16日(土)まで

企画内容

第1回(9月2日開催)

コロナ禍で減少した地域イベントを子ども祭りという形で開催し、集まった子どもや保護者と交流できる場を提供するという目的のもと、子どもが楽しめるゲームや遊び(輪投げ・ボーリング・ドッジボール・はてなボックス)を用意した。その際得点に応じて景品として、参加してくれた子ども達にお菓子等を配った。加えて、活動の成果を振り返るため、当日の感想や意見を聞くアンケート実施した。

第2回(12月16日開催)

第1回のイベントをふまえ、より地域の子もたちと近い距離で接し、また子どもたちに季節に応じた体験を提供するために、子どもの年齢問わず誰もが楽しめるクラフトイベント(クリスマスカード作り)を実施した。

成果

第1回(9月2日開催)

- ・アンケートからも分かる通り、子どもたちの満足度が高く、何回もゲームをおこない長時間滞在してくれる子どもが多かった。一度帰宅した後に再来してくれた子どもも複数名いた。
- ・全体の来場者数は多くはなかったが、その分、一人一人の子供たちと深く関わることができたため、子どもたちの満足度が高かったのだと考える。

第2回(12月16日開催)

- ・クラフトイベントを行ったことで前回よりも子ども達との距離が近く、また教えながら一緒に作成したために一人ひとりと関わる時間を長く持つことができ、仲を深めることが出来た。
- ・幼児から中学生までの幅広い子供たちが参加してくれた。
- ・第1回の倍以上の子どもたちに来場してもらえた。
- ・子どもたちが簡単に作れるよう工夫した結果、回転率が上がり多くの子どもたちに体験してもらえた。

アンケート結果 第1回(9月2日開催)

当日のアンケートの回答者は11名(子ども)で、ほとんどの来場者が回答してくれた。

とても楽しかったが9名、普通が1名、楽しくなかったが0名で、以下がアンケートの自由コメント欄に記載されていたコメントである。

- ・たくさん遊べて楽しかった
- ・遊ぶおもちゃとかが多くて楽しかった
- ・ドッジボールが楽しかった
- ・景品が好きなお菓子だった
- ・輪投げでたくさん点を取れて楽しかった
- ・ボーリングをいっぱいやらせてもらった
- ・お菓子がもらえてうれしかった

当日の声 第2回(12月16日開催)

30人が来場し、以下のような声をいただいた。

- ・可愛いシールがたくさんあり可愛くできた。
- ・来年もやって欲しい。
- ・二つ目も作りたかった。
- ・優しく教えてもらえてうまくできた。



(2) SDGs 学生委員会研究会およびSDGs 展示

SDGs 学生委員会 齋藤夏帆、小柳津浩貴

期間：2023年4月28日(金)から2024年3月1日(金)まで

2023年SDGs学生委員会では、下記の企画を実施致しました。

葵祭期間中、外部講師を招いた講演会を行うことはできなかったが、展示とワークショップを実施した。

展示...計6枚のパネルを展示。(1.学生委員会について、2.SDGsとは、3&4.昨年度のセレオイベントについて2枚、5.子ども食堂について、6.マルイ×メルカリイベントについて)

これらのパネルを見た来場者の方から質問をいただくことも多々あり、担当委員が説明を行った。来場者の声として、「学生ならではの企画を行なっていて、面白い」「学習意欲を感じた」などの声があがった。

また、委員からも「説明をすることで良いアウトプットになり知識が深まった」との声もあがった。以上のことから、目的であった来場者の理解を深めることはできたと考えられる。また、委員の理解も深めることができた。

ワークショップ...昨年セレオ様とのコラボイベントで行った「こくベジ廃棄野菜絵の具」を実施した。

野菜の絵の具の量は、2種類と少なくし、手軽に楽しんでもらえるように変更した。また、塗り絵台紙も葵祭用に変更した。

ワークショップを体験したお客様からの声として「発想が面白い」「夏の自由研究で子どもと一緒に作ってみたい」「SDGsがより身近に感じられた」などがあがった。

以上のことから、目的であった来場者の理解を深めることができたと考えられる。また、体験型であったことから、楽しくSDGsに関して知識を深めてもらうことができ、簡単に真似できるワークショップであったことから、学びだけでなく、実施意欲を掻き立てる企画となったと考えられる。(特にお子様のいる家庭)

1日目は210名、2日目は213名の来場者があった。

今回作成した展示物は、パネルにて保管し、外部のイベント(セレオイベント)の際も使用し、今後も同様に使用予定である。



11月25日(土)~11月26日(日)に、セレオ様との企画である「サステなぶんじ」で、スポットラリーとワークショップを実施した。

1日目はスポットラリー35名、ワークショップ19名、2日目はスポットラリー80名、ワークショップ57名の来場者があった。

ワークショップ...トイレットペーパーの芯を使い、捨てられてしまう袋や紙箱などの商品パッケージをデコレーションして、オリジナルのフォトスタンドを作成してもらった。来ていただいたお客様には、自分で装飾品や色紙の色などを選んでいただき、委員の説明を受けながら自分や家族と一緒に制作を楽しんでもらった。最後にはチェキで作った物と一緒に写真を撮り、持ち帰ってもらった。

1日目は、

ワークショップを体験されたお客様からは、「自分の好きなように作れて楽しい」「SDGsにはこんな活動もあるんだ」「チェキ初めて撮れて嬉しい」などの声をいただいた。

SDGsについて体験型を通して楽しんでもらいつつ啓発することができた。ご家庭でも気軽にできる取り組みがあることやSDGsについて知ってもらうきっかけとなるような活動にできた。

スポットラリー・・・セレオ国分寺様のテナントにご協力いただき、SDGsに関連した問題を2、5、6、8階の店舗にクイズとして設置し、お客様にスポットを巡っていただきました。各階で問題を解いて言葉を集めていき、最終的に9階の受付まで来て「アップサイクル」という文字が完成するものとなっており、景品として「ともしび工房」様のクッキーが贈呈された。

お客様からは、「いろんな問題があって面白かった」「豆知識などもあり解いていて楽しかった」「SDGsは案外身近にあるんだね」といった言葉をいただいた。

セレオ様の店舗のSDGsの取り組みについて知ってもらいつつ、SDGsについてクイズを交えて楽しく学んでもらうことのできる活動となった。



今年度3月にSDGs啓発のため、学内各所にSDGsの17の目標から抜粋したステッカーを掲示する。

今回は目標6、7、11、12、13の5種類のステッカーを70枚ずつ作成し、写真のように前回貼り付けているステッカーを貼り替える形で行なう。

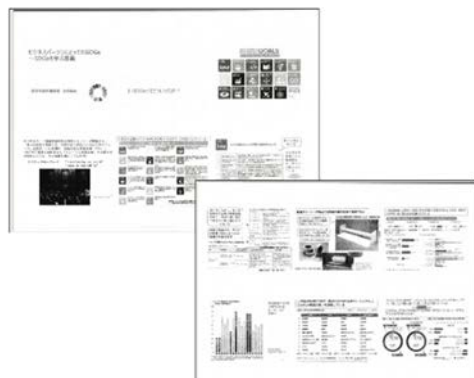
この活動を通して、学内のSDGsの周知、興味関心を持ってもらうことを目標とする。



2023 年度 SDGs 学生委員会の活動

1. SDGs 学習会

- 【日 時】6月29日(木)
- 【場 所】東京経済大学
- 【内 容】経済学部佐野教授より SDGs の成り立ちや社会から注目されるようになった経緯、企業と SDGs の関係性等を学んだ。



2. 学生団体 Unlimited コラボイベント「オシャレなフードドライブを考えよう」

- 【日 時】7月5日(水)
- 【場 所】東京経済大学 6号館 301 教室
- 【内 容】国分寺ボランティアセンターよりフードドライブの取り組み、NPO 法人マイスタイルよりこくベジの地産地消プロジェクトについてそれぞれ伺い、どうすればより多くの人々がフードドライブに参加するかをテーマに、ワークショップを開催した。



3. マルイ×メルカリ

- 【日 時】8月15日(火)
- 【場 所】国分寺駅ビル ミーツ5階リオンホール
- 【内 容】まだ使用できる不要なものを他の方に譲り利用してもらうことができる「メルカリ」を広めるため、参加者のスマートフォン使用等の手伝いなどに取り組んだ。
尚、イベント当日に向けて6月下旬に打ち合わせ、7、8月には事前研修をおこなった。



マルイ×メルカリコラボイベント前の6月下旬にマルイ、メルカリの方々と打ち合わせを行い、メルカリという会社についての説明と、コラボイベントの趣旨やイベント開催に当たって注意すべき点などの話し合いを行った。
また、7月には8月のコラボイベントに向けた事前研修としてメルカリ教室にサポート役として参加させていただき、実際の流れなどを確認した。



ここで実際に委員もメルカリアプリをダウンロードしてメルカリの方に講習を受けた

4. 葵祭

- 【日 程】11月4日(土)、5日(日)
- 【場 所】東京経済大学 葵陵会館
- 【内 容】2023年度のSDGs 学生委員会活動ポスター展示
2022年度セレオイベント(サステなぶんじ2022)
でおこなった野菜ぬりえのワークショップを再度
実施した。



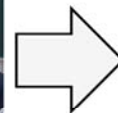
5. セレオ国分寺コラボイベント「サステなぶんじ2023」

- 【日 程】11月25日(土)・26日(日)
- 【場 所】セレオ国分寺
- 【内 容】「アップサイクル」をテーマとした体験型イベントを企画、準備、開催した。
地域住民にSDGsの知識を波及するとともにワークショップやスポットラリーを通して
楽しくSDGsを学ぶ機会を設けた。



ワークショップで使うトイレットペーパーの芯やお菓子の空き箱等の廃材は委員が各々集めたものを使用

事故を防ぐためにハサミなど刃物を使う細かい作業等は事前に委員が行った



完成!



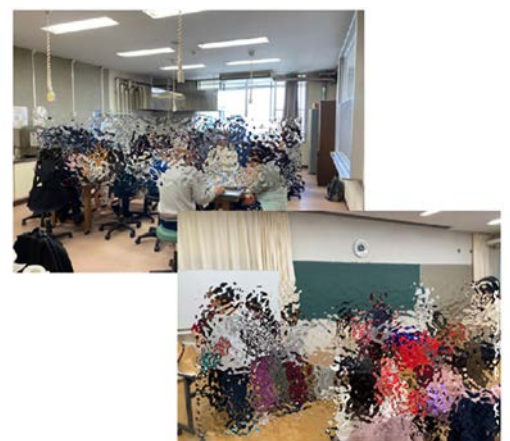
昨年と同様に店舗に因んだクイズを作成して店舗前に設置し、クイズに回答して暗号を解いてもらうクイズラリーを実施

スポットラリーを終えた後は景品であるとしび工房さんのクッキーをGET!



6. 子ども食堂

- 【日 時】毎月1回の開催(月末の日曜日)
- 【場 所】本多公民館・もとまち公民館
- 【内 容】本多公民館、もとまち公民館で開催される「こども食堂」の手伝いに参加した。主に子どもたちと一緒にボードゲームなどで遊んだり、昼食を一緒に食べたり、会場設営や片付けなどをおこなった。



・産学連携

1. 西武信用金庫との連携事業「知財活用スチューデントアワード 2023」

産学官金の地域支援機関が連携した本事業は、学生が大手企業の開放特許を活用した商品アイデアを考え、これまでの市場にない斬新な商品アイデアを創出し、知的財産を活用した商品開発の成功事例の実現を目指すことを趣旨としています。

本学から参加した4チームは、西武信用金庫、東京都中小企業振興公社及び特許提供企業等のサポートを受けながら、約7か月間にわたって商品アイデアのブラッシュアップを図りました。

10月に実施した学内選抜で選出された2チームが、12月開催の西武信用金庫が主催する事業審査会に臨みました。審査会は中野セントラルパークサウスにある西武信用金庫会議室にて対面で開催されました。

【開催要項】

日 程：2023年12月11日(木)

会 場：中野セントラルパークサウス2階 西武信用金庫会議室

主 催：西武信用金庫

共 催：Open Patent Innovation Consortium(略称:OPIC)

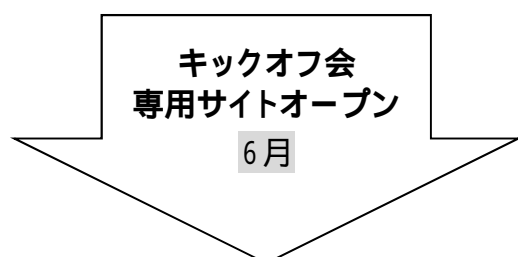
発 表 者：嘉悦大学、昭和女子大学、東京経済大学、東洋大学、目白大学 5大学 計9チーム

知財提供：イトーキ株式会社、富士通株式会社、パナソニック IP マネジメント株式会社

【参加チーム】

| | |
|--------------------|---|
| 消毒戦隊 (小木紀親ゼミ) | アイデア名：殺菌ぶらずマン 活用特許名：水中プラズマ技術(パナソニック IP マネジメント株式会社) |
| チームぎい~ (小木紀親ゼミ) | アイデア名：ドリン・くりっぷ 活用特許名：スマートクリップ技術(富士通株式会社) |
| チーム入口 (小木紀親ゼミ) | アイデア名：セルフロート 活用特許名：水没防止技術(富士通株式会社) |
| ろくまるご (北村真琴ゼミ) | アイデア名：置き去り防止くん 活用特許名：スマートクリップ技術(富士通株式会社) |

【全体の流れ】



大会についての説明、特許提供企業等による説明動画が公開となりました。

**アイデア記入シート
提出**

8月31日(木)
締切

「チーム名」「アイデア名」「活用特許」を記入したアイデア記入シートと、「参加学生写真」を提出します。提出後、専用サイトにチーム情報として公開されます。

**プレゼン用
データ提出**

9月29日(金)
締切

パワーポイントでナレーション付きのプレゼンデータを作成し、地域連携センター宛てに送信しました。

学内選考会

(場所:進一層館)
10月4日(水)

学外審査員 3名 (+尾崎寛直教授)

栗原 雅治氏
(西武信用金庫 西国分寺支店)

小野 敦史氏
(西武信用金庫 事業支援部)

落合 和司氏
(西武信用金庫 事業支援部)

中間発表会

10月19日(木)

学内選考で選出された下記 2 チームがブラッシュアップ会と本選へ出場しました。

- ・北村ゼミ「ろくまるご」
- ・小木ゼミ「チーム入口」

2023年度知財活用スチューデントアワードは6月にスタートし、公開特許（イトーキ株式会社2件、パナソニックIPマネジメント株式会社4件、富士通株式会社4件）などの大会の詳細が公開されました。本学からは4チーム17人が参加し、商品のアイデア創出、事業化計画、アンケート調査、中小企業への調査等、プレゼン資料の作成・発表に取り組みました。

10月4日(水)に行った学内選考会で、富士通株式会社の「スマートクリップ技術」を使用した『置き去り防止くん』のプレゼンを行った「ろくまるご」（北村ゼミ）と、富士通株式会社の「水没防止技術」を使用した『水難防止！セルフロート』のプレゼンを行った「チーム入口」（小木ゼミ）が選ばれ、本選に出場しました。

本選は12月11日(木)に中野セントラルパークサウス2階の西武信用金庫会議室にて対面で開催されました。5大学から9チームが出場し、本学の「ろくまるご」が最優秀賞を、「チーム入口」は優秀賞を受賞しました。

表彰式後の懇談会では、西武信用金庫の理事長などと懇談を行いました。



【プレゼン資料】

1. 消毒戦隊『殺菌ふらずマン』

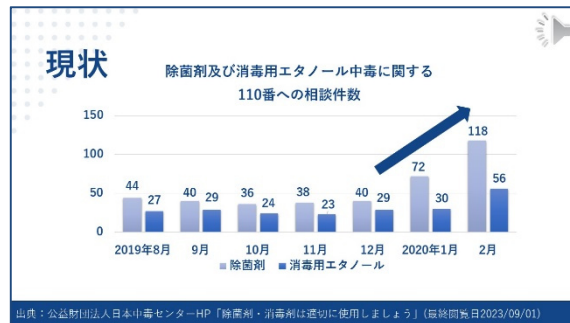
殺菌 ふらずマン

消毒戦隊

【笹野彩果 櫻井心和 住矢莉菜 堤早希 渡邊景太】

目次

- 1.現状
- 2.水中プラズマ技術とは
- 3.アイデアイメージ
- 4.導入までの流れ
- 5.今後の展望
- 6.参考URL



事例

2020年3月
島根県雲南市の保育園で、
アルコール消毒液をなめた
女の子が意識を失い、緊急搬
送。
急性アルコール中毒と診断。

目ぐるぐる回
る、ふらつき、
気持ち悪さなど。

出典：TBS NEWS DIG HP「アルコール消毒液をなめて女児が一時意識不明に」(最終閲覧日2023/09/01)

簡単で安全な殺菌・消毒
を。

殺菌ふらずマン

水中プラズマ技術

空気と電気ので高い酸化力を
持ったイオン種を発生させ、
水中の汚れや臭い、
微生物などを分解・殺菌する。

アイデア イメージ

容量500ml

水中プラズマ装置

アイデア イメージ

改良0分後完成

- ① 水道水を入れる
- ②③ 電源装置を挿す

出典：SEIBU SOGO e.デパート HP「T-16」(最終閲覧日:2023/09/27)

アイデア イメージ

電源装置(土台)

<真上から見た図> <横から見た図>

スイッチ

電源及びボトルの設置所

残り時間

アイデア イメージ

簡単に安全・安心な
殺菌・消毒が可能

消毒

改良水


| | |
|---|--|
| 殺菌・消毒  | 消臭  |
| 健康飲料  | 食品スプレー  |

サブスク方式

殺菌ぶらずマンの価格は**10万円**

しかし、サブスク方式を導入することで

月額2990円の定額制での販売が可能



CSR

「安全衛生」「環境」「品質と製品安全」

SDGs

3. 「すべての人に健康と福祉を」

3. 「すべての人に健康と福祉を」



出典：Panasonic HP「CSR / Environment」 「SDGsへの取り組み」(最終閲覧日:2023/9/27)
 国庫立布店販売センター「SDGsのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン」(最終閲覧日:2023/9/27)

高い安全性




高い安全性


| | | |
|--|---|---|
| アルコール消毒の場合 ・目に入ると危険。 ・幼児が舐めると危険。 ・アレルギーがあると炎症を起こす。 | ▶ | 殺菌ぶらずマンの場合 元の水溶液が水であるため それらの心配は 0 。 |
|--|---|---|

企業

| | | |
|--|--|--|
| 安定した収入  | 新規顧客獲得  | ブランドイメージUP  |
|--|--|--|

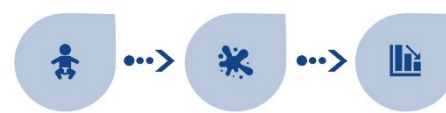
出典：SUBSCRIPTION LAB「サブスクビジネスのメリットとは？成功のコツを解説」(最終閲覧日:2023/09/27)

導入までの流れ



メーカー → スプレーボトルを入荷 → Panasonic → 販売 → 自治体 → 販売 → 保育園・幼稚園等 → 導入

今後の展望



子供による消毒剤・除菌剤の事故 → 安全に消毒できるぶらずマンの普及 → 事故減少

今後の展望

新規顧客の獲得



農業
宿泊業

水が生ま出す可能性、
殺菌・消毒は次の時代へ。

私たちは消毒戦隊です。



21

参考URL

公益財団法人日本中毒センターHP「除菌剤・消毒剤は適切に使用しましょう」(最終閲覧日2023/09/01)
<https://www.j-poison-ic.jp/report/sanitizer202004/>
 TBS NEWS DIG HP「アルコール消毒液をなめて幼児が一時意識不明に」(最終閲覧日2023/09/01)
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/43316?display=1>
 厚生労働科学研究成果データベースHP「感染症対策をうたう家庭用除菌剤等の実態、健康被害及び規制状況調査」
 (最終閲覧日2023/09/01)
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/145788>
 消費者庁HP「消毒剤・除菌剤の取扱いに留意しましょう。誤飲や眼に入る事故の発生が続いています。」
 (最終閲覧日2023/09/05)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail/20220228/
 東京消防庁HP「消毒用アルコールは正しく取り扱ひましょう！」(最終閲覧日2023/09/05)
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/topics/nichijou/nichijou/arukouru.html>
 TBS NEWS DIG HP「アルコール消毒液をなめて幼児が一時意識不明に」(最終閲覧日:2023/09/01)
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/43316>

22

参考URL

SEIBU SOGO e.デパートHP「T-fal」(最終閲覧日:2023/09/27)
<https://edepart.sogo-seibu.jp/brand/001340>
 Panasonic HP「CSR/Environment」 「SDGsへの取り組み」(最終閲覧日:2023/09/27)
<https://www.panasonic.com/jp/industry/csr.html>
<https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/sdgs.html>
 国際連合広報センター「SDGsのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン」(最終閲覧日:2023/09/27)
https://www.unicef.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/
 SUBSCRIPTION LAB「サブスクリプションのメリットとは？成功のコツを解説」(最終閲覧日:2023/09/27)
<https://www.robotpayment.co.jp/lab-blog/subscription/2054/>

23

Thank you ☆

2. チームぎい ~ 『ドリン・くりっぷ』

ドリン・くりっぷ

チームぎい ~【水野・深澤・倉井・疋田】

目次

1. 脱水症・熱中症の現状
2. アイデアイメージ
3. 導入までの流れ
4. ドリン・くりっぷのメリット
5. 今後の展望
6. 参考文献・参考URL

1. 熱中症・脱水症の現状

熱中症になりやすい年代はどの年代でしょう？

1. 熱中症・脱水症の現状

幼児 高齢者 学生



1. 熱中症・脱水症の現状

暑さや喉の乾きを察じにくい

高齢者における熱中症は室内で発生する機会が多い!

気づかぬうちに重症の熱中症に!

提案 ドリン・くりっぷ

2. アイデアイメージ

スマートクリップ技術 → 水分補給時間を教えるアラーム付きドリンクホルダーへと活用

高齢者の水分不足による熱中症・脱水症対策に利用可能！！

2. アイデアイメージ

特許の説明 ~ドリンクホルダー型のタイマー付きクリップ~

- 机や椅子の肘掛けを挟むことが可能
- アプリから簡単に設定が可能
- センサにより経過時間を管理

2. アイデアイメージ

イメージ図

あらかゆる飲料容器に対応した大きさに！

机や椅子を挟むクリップ部分 (滑り止め加工付き)

10.0cm
5.0cm
20.2cm

2. アイデアイメージ

イメージ図 (上から)

幅0.7cm
底
直径9.2cm

内側にセンサを搭載したクリップを付けることで時間管理を可能に！！

2. アイデアイメージ ~耐久性について~

重さ

耐荷重: 1kg

一般的な500mlの水筒の重さ: 約200~300g

2. アイデアイメージ ~耐久性について~

充電式

最多持続時間: 15時間

電源はクリップを挟む動作でON、OFF可能

2. アイデア

アプリをダウンロード

端末と接続 普及率 80%

設定項目を入力

2. アイデアイメージ~アプリについて~

- 時間
- アラームの種類
- 必要水分量の計算機能
- 体調管理機能
- 情報共有機能

2. アイデアイメージ(使用例)

A子さん
年齢: 65歳
体重: 55kg

必要水分量(mL/日) = 体重(kg) × 年齢別必要水分量(mL/kg/日)
55(kg) × 25 (mL/kg/日) = 1,375(mL/日)

出典: 宮澤『投与エネルギー—水分量をどうきめるか』

2. アイデアイメージ(使用例)

7:00~21:00の間
1時間おきにアラームを設定
アラームが鳴ったら
3口程度(90ml)の水分を補給
1日に必要な水分を摂取可能

A子さん

2. アイデアイメージ(価格について)

大量生産
2000円
大幅にコストダウン可能

3. 導入までの流れ

パターン①

富士通株式会社 → ライセンス提供 → 製造販売会社 (試用, 商品のFB) → 地域包括支援センター

3. 導入までの流れ

パターン②

富士通株式会社 → ライセンス提供 → 製造販売会社 (販売) → 薬局, 病院, 商業施設

21

22

3. 導入までの流れ

パターン③

商業施設 → 商品の販売 → 家族 (プレゼント) → 高齢者

4. ドリン・くりっぷのメリット①

水分補給の習慣化が健康につながる

23

24

4. ドリン・くりっぷのメリット②

コップ
水筒
ペットボトル

4. ドリン・くりっぷのメリット③

高齢者の水分補給以外にも活用可能
ダイエット目的
プロテインの補給

25

26

5. 今後の展望

ドリン・くりっぷを使って 毎日を健康に!
販売

6. 参考文献

- ・総務省『熱中症による救急搬送状況』
- ・気象庁『熱中症の現状と対策』
- ・宮澤『投与エネルギー・水分量をどう定める?』

27

6.参考URL

- ・みんなの介護HP『高齢者が熱中症になりやすい原因とは？』
<https://www.minnanokeigo.com/news/kaigo-text/home-care/no410/>
- ・NHKHP『自覚症状ない"かくれ脱水"に注意"こまめな水分補給をして"』
<https://www.nhk.or.jp/shutoken/newsup/20220710c.html>
- ・総務省HP『熱中症情報』
<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>
- ・厚生労働省HP『健康のために水を飲む！推進運動』
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/hunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/index.html>
- ・国立環境研究所HP『熱中症患者の発生状況と今後の予測』
<https://www.nies.go.jp/kanko/kankyogi/32/10-11.html>
- ・一般社団法人日本スポーツ栄養協会HP『令和2年夏の熱中症救急搬送は6.5万人 新型コロナで年齢構成や発生場所、重症度に影響？』
<https://sndi-web.jp/news/001044.php>

28

ご清聴
ありがとうございました。

3.チーム入口 『水難事故防止！ セルフロート』

水難事故防止！ セルフロート

チーム入口(大丸・二宮・前川・出口)

目次

1. 水難事故の現状
2. アイデアイメージ
3. 導入までの流れ
4. セルフロートのメリット
5. 今後の展望
6. 参考文献・参考URL

1. 水難事故の現状

水難事故の発生件数
年間
件

1. 水難事故の現状

水難事故の発生件数
年間
1,346
件

1. 水難事故の現状

2012～2022年における中学生以下の水難者の構成比

■ 死者・行方不明者 16.8
■ 負傷者 22.4
■ 無事救出 60.8

約15%が亡くなるか、
行方不明

(%)

出典 警察庁生活安全局生活安全企画課(2022)『令和4年における水難の概要』

1. 水難事故の現状

活動別ライフジャケット着用率

| 活動 | 着用率 (%) |
|----------|---------|
| 川での水遊び | 18.8 |
| 海での水遊び | 23.5 |
| 釣り | 40.3 |
| シュノーケリング | 70.1 |
| ボート遊び | 95.3 |

出典 東京都庁(2022)『子供用ライフジャケットの安全な使用に関する調査』

意外にネット販売が**少ない**

ライフジャケットはとにかく**ダサい!**

TBSNEWS HP『なぜライフジャケットを着ないのか』最終閲覧日(2023/9/27)

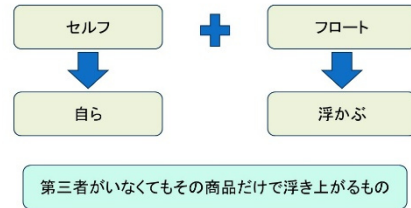
提案

セルフロート

セルフフロートの由来



セルフフロートの由来



水没防止技術とは

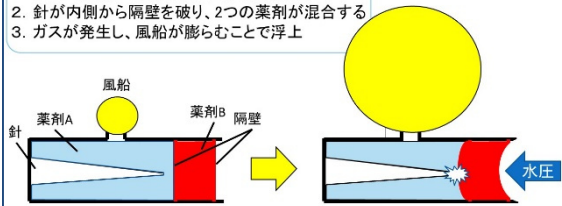
水圧を感知して、浮き具に浮力を生じさせることで、
様々な物品の水没を防ぐ技術



今まであきらめざるを得なかったモノの回収が可能に

2. 水没防止技術の仕組み

1. 水圧で薬剤Bの封入部分が押し込まれる
2. 針が内側から隔壁を破り、2つの薬剤が混合する
3. ガスが発生し、風船が膨らむことで浮上



2. アイデアイメージ

水没防止技術 → セルフフロート
水難事故の防止のための製品に利用

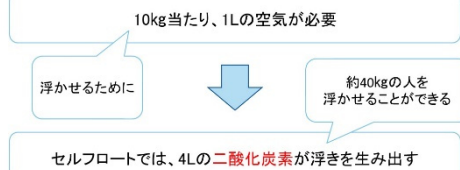


幼児が海や川、プールなどで遊ぶ際に使用

腕に着用

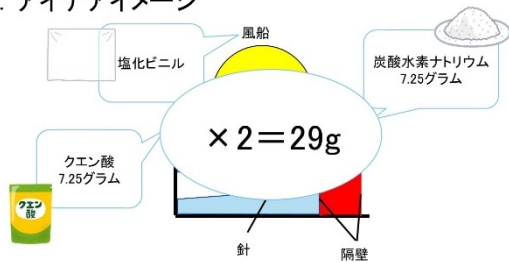
水面より下に肩が沈んだ際に
自動的に浮きを生み出し
浮力を与える

2. アイデアイメージ



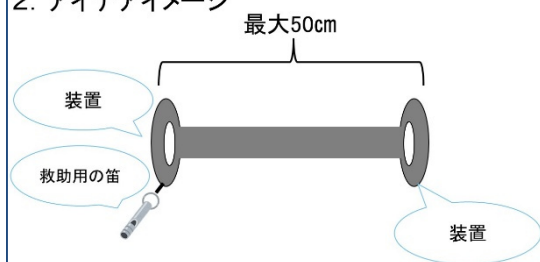
出典: 宮城県庁消防部防災対策課(2021)
松原(2019)「クエン酸を用いた水難事故防止装置」

2. アイデアイメージ

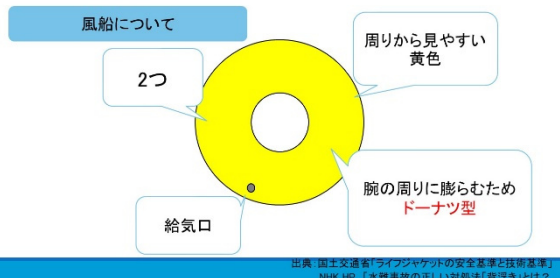


出典: 松岡(2018)「クエン酸を用いた水難事故防止装置」
全国地球温暖化防止推進センター「二酸化炭素の量と体積の関係について」

2. アイデアイメージ

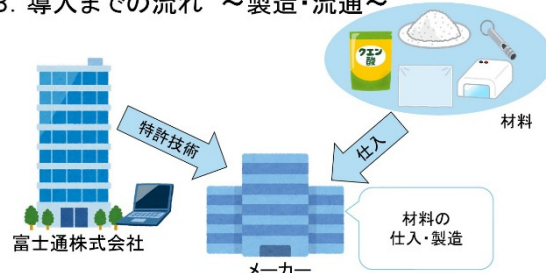


2. アイデアイメージ



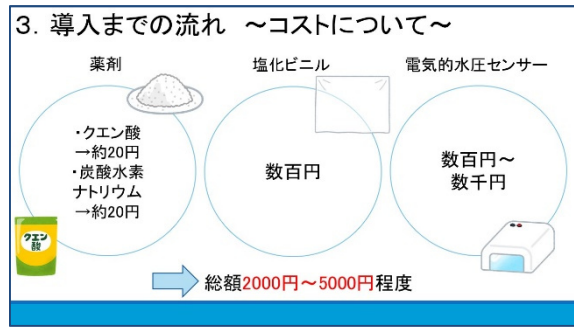
出典: 国土交通省「ライフジャケットの安全基準と技術基準」
NHK HD「水難事故の正しい対処法「背浮き」とは?」

3. 導入までの流れ ~ 製造・流通 ~





21



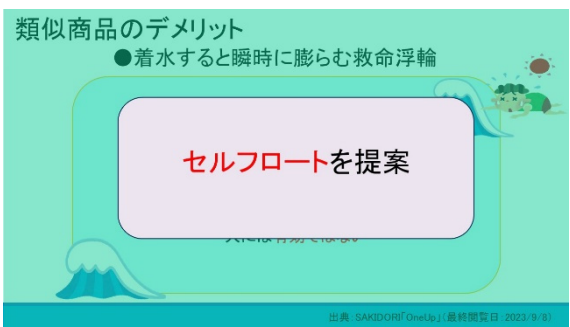
22



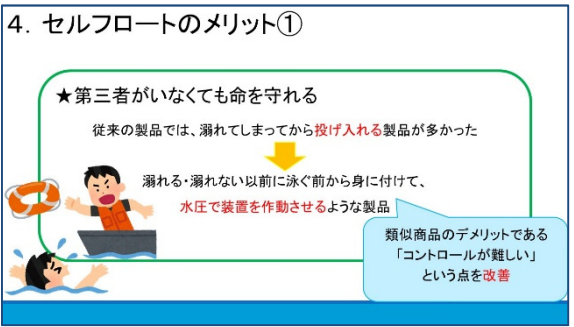
23



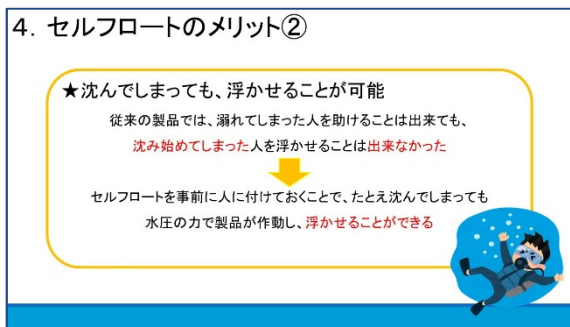
24



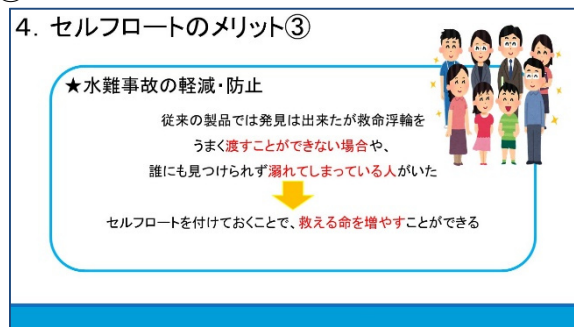
25



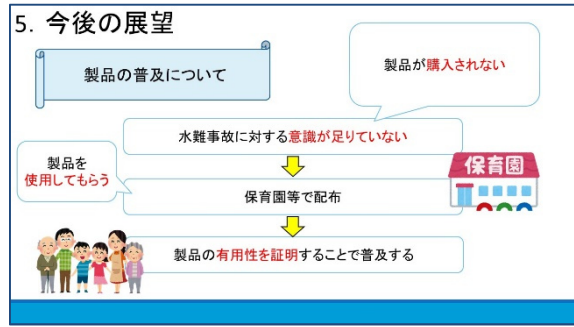
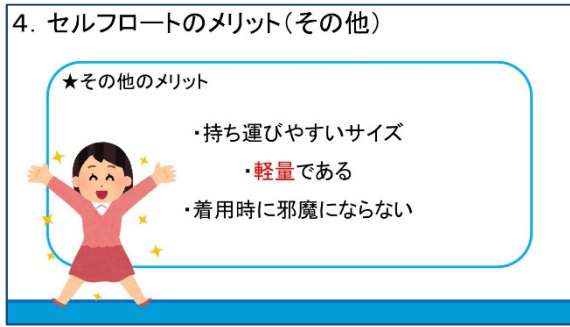
26



27



28



スマートクリップ技術について

- ・持ち手（把持部）を備えた電子クリップ
- ・物を挟む、外す、といった動作を通電センサで検知し、スマートフォンなどの電子機器に時刻、時間情報を送る
- ・設定された時刻になってもクリップが外されない（=タスクが開始されない）場合、音や光でユーザーに知らせる

7

抜け出し防止クリップについて

チャイルドシートのベルト部分に装着するクリップ
子供のチャイルドシートからの抜け出しを予防

使用方法

- Step1 チャイルドシートのベルト部分に装着
- Step2 左右のクリップ部分を開く
- Step3 開いた部分を両肩のベルトに挟む
- Step4 クリップを閉じる

抜け出し防止完了！

8

置き去り防止くんの構造説明

クリップにはBluetooth機能が内蔵されているクリップの先端部分に通電センサを用いる

- ・クリップがチャイルドシートのベルト部分を跨ぎ、クリップの上部と下部が接触した状態
=スイッチON
- ・クリップの上部と下部が接触していない状態
=スイッチOFF

9

全体的な使用の流れ

10

起こりうるケース

- 1 子供が置き去りにされた場合
- 2 渋滞などの影響を受け、目的地到着前にアラームが鳴ってしまった場合

11

1 子供が置き去りにされた場合

万一、スマホアプリに設定したタイマーの設定時間が経過してもクリップが外されなかった場合、スマホから警告音が鳴る。この音によって保護者が子供を置き去りにしている事に気付くことができ、事故を防げる。

12

2 タイマーがスマホ側から解除されてしまった場合

第2の対策機能
スマホとクリップの距離が離れた際（親が子供を置き去りにした時）Bluetoothとスマホの接続が切れるこれに反応してスマホから警告音が鳴る

スマホ側でアラーム解除

渋滞などで目的地到着前にアラームが鳴る

目的地到着後タイマー機能が無効化

13

アイデアの強み

置き去り防止対策 & 走行中の安全対策

14

需要

子どもの車内放置を検知し、防止するシステムがあれば欲しいか

質問対象
全国の子どもを乗せて車を運転するドライバー-2,652名

「とても欲しい」or「欲しい」全体で40%以上
20代・30代で50%以上

15

費用

| 抜け出し防止クリップ | スマートクリップ自体の価格 (Bluetooth機能込) | アプリ開発費用 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 950円 (1台あたりの値段) | 数千円 (一個あたりの値段) | 50万円 (iOS、android対応) |
| (楽天市場 Outlotにおける販売価格2023/09/28時点) | (知財サイト富士通株式会社によるスマートクリップ技術お&Nの回答より) | (株式会社カトムへのヒアリングより) |

16

学生社会貢献活動

1. ぶんじコンシェルジュ事業

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）

【活動日程】4月～3月、月曜～金曜（17時～19時）

【活動場所】国分寺市案内所（JR中央線国分寺駅構内）

こくぶんじ観光まちづくり協会が行う講習会に参加し、「ぶんじコンシェルジュ」として認定された学生が市民や国分寺を訪れる人々に国分寺の魅力やイベント情報を発信する活動を行っています。



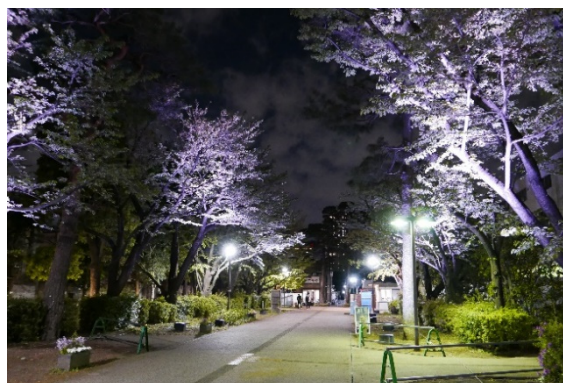
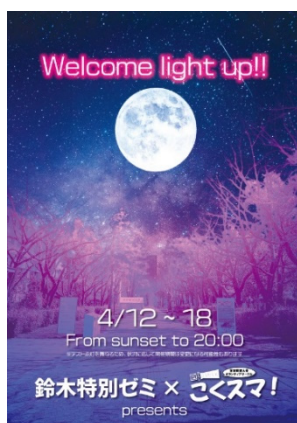
2. Welcome Light up!!

【活動団体】鈴木特別ゼミ、こくスマ！（まちづくり学生団体）

【開催日程】4月12日（水）～18日（火）

【開催場所】正門付近の木々

こくぶんじ観光まちづくり協会が開催している春の武蔵国分寺公園での桜ライトアップイベント終了後、照明機材20基を本学国分寺キャンパス内で一時保管することとなり、それを利用して春ならびに秋2回の計3回のライトアップを企画し、第1回目を開催しました。



3. 産学連携×地産地消プロジェクト

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

【販売日程】4月26日（水）～6月29日（木）の毎週水・木曜日

【販売場所】葵陵会館前

ぶんぶんキャラベリー（400円）・ブルーベリージャム（900円）の販売
「こんなお菓子あったらいいなプロジェクト」として、国分寺産のブルーベリーを使用し、小木ゼミとJA東京むさし農業協同組国分寺支店、鈴木栄光堂とで共同開発した商品を昨年度に引き続き販売しました。東京経済大学生協でも販売されました。



4. 新緑まつり

- 【活動団体】青木亮ゼミ（経営学部）
- 【展示日程】5月19日（金）～21日（日）
- 【展示場所】本多公民館

昨年11月に本多公民館で展示した、「国分寺に路面電車を通すことは可能なのか？」についてまとめた「国分寺LRT化計画」の再展示で参加しました。



5. こくフェス

- 【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）、小木ゼミ、Clover（ボランティアサークル）他
- 【開催日程】5月27日（土）、5月28日（日）
- 【開催場所】国分寺市内各地

今年度で2回目の開催となる『こくフェス』は、「音楽の力で国分寺をもっと元気に！」をテーマに昨年度より規模を拡大し、国分寺市内全域の各所で音楽イベントが行われました。

こくスマ！はイベント企画の段階から会議等に参加し、当日は国分寺駅北口広場にてワークショップ「こくスマ！かんたんメイキング！～ペットボトルをマスカラにリノベーション～」を2日間にわたり実施しました。Cloverは誘導・案内のスタッフとして、小木ゼミ、音楽系サークル等も運営に参加しました。





6. スイーツの協働販売活動

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）

【販売日程】6月5日（月）

【販売場所】葵陵会館前

尾崎ゼミでは、障がい者の就労支援を研究課題とし、毎年定期的にスイーツの販売を行っています。国分寺市障害者センターとのコラボ事業を通して、障がいについての認識を養うとともに、販売などを通して経済的な視点も養う事を目的としています。

ともしび班は、社会福祉法人ななえの里の関連施設である「就労継続支援B型ともしび工房」の方々が製造した多種多様なクッキーなどの2023年度 第1回販売会を行いました。



7. 通学路清掃活動

【活動団体】ボランティアサークル Clover

【活動日程】6月6日（火）

【活動場所】通学路（正門～ガソリンスタンド）

ボランティアサークル Clover が大学周辺の道路（両側）の清掃活動を行いました。ゴミの溜まりやすい街路樹の周辺には、タバコの吸殻などが多数落ちていました。拾ったゴミは大学へ持ち帰り、処分しました。



8. CRC Café「透明なしおり」作り

【活動団体】こくスマ!、SDGs 学生委員会 6名

【開催日時】6月22日（木）

【開催場所】東京経済大学 地域連携センター

講師に押し花アート作家の松井美和さん（salvaworks 主宰）をお招きして、今後の地域貢献活動に活用できるよう、初めての人にも作れる押し花しおりの制作の基本を学びました。「東経の森」の植物採取から始まり、葉や花の乾燥の仕方といったラミネート加工でつくる「透明なしおり」のプロセスを教えていただきました。



9. 東経大名物パンプロジェクト アンケート

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ キニヨンチーム（経済学部）

【実施期間】5月24日（水）～6月7日（水）

【結果公表】6月26日（月）

鈴木特別ゼミでは『実社会における問題解決力を鍛える』をテーマに掲げ、キニヨンチームは葵陵会館2階のキニヨン東経大店にご協力いただき活動しています。コラボパンを作るにあたり、本学の学生・教職員にアンケートを取ってニーズ調査を実施しました。結果は、今後展開する名物パンの創作や様々な企画に反映させていきます。



アンケート結果を踏まえた考察

- 1.パンに使える金額がキニヨン東経大店を利用するかしないかで大きな違いがなかった。そのため、キニヨンのパンを多くの人に召し上がっていただくためにはイベントや、SNSを用いて多くの方に周知することが必要だと考える。
- 2.利用者の多くは女性となっている。男性と女性でチーズ以外の好きな具材が異なっているため、新規獲得を目的にするとチーズ、ベーコン、ソーセージを用いることで、男性をターゲットにしたパンを作るべきであると考え。女性をターゲットにするのであればチーズとチョコを使ったパンを作るべきだと考える。
- 3.昨年の同時期と比べてSNSの認知度が向上していない。今後、認知度を向上させていくためには、1年生を中心に積極的なアプローチを行うと共に、利用者が求めるコンテンツを充実させることが必要だと考える。

10. キニヨン東経大店との連携活動「スコーンガチャ」

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・キニヨンチーム（経済学部）

【販売期間】6月27日(火)～6月28日(水)

【販売場所】葵陵会館

昨年のパン総選挙で1位となった紅茶スコーンを含む4種類のスコーンを販売しました。販売価格はランダムにセットした2個で390円とし、ガチャの当たりが出たらオリジナル缶バッジをプレゼントしました。



11. スイーツの協働販売活動

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）

【販売日程】7月3日（月）

【販売場所】葵陵会館前

ともしび班の第2回協働販売活動として、社会福祉法人ななえの里「就労継続支援B型ともしび工房」のクッキー販売を行いました。



1.2. オシャレなフードドライブを考えよう

【活動団体】TKU Unlimited 食品ロスプロジェクト班

開催協力：もとまち公民館、国分寺市ボランティアセンター、NPO 法人マイスタイル、東京経済大学 SDGs 学生委員会

【活動日程】7月5日（水）

【活動場所】東京経済大学 6号館 F301

TKU Unlimited は「自分に限界をつくらない」「学生ができること、やりたいことを主体的に行動する」という2つの目標を掲げ、学生目線で等身大のメッセージを学生や社会に伝える取り組みをしている本学キャリアデザインプログラム（CDP）に所属する学生で構成される団体です。

食品ロスプロジェクト班は、実際に活動している団体からフードドライブのやり方や地産地消プロジェクト「こくベジ」での工夫を伺い、より多くの人に参加するにはどうしたらよいか、新しいフードドライブ案を考えるワークショップを開催しました。



1.3. 通学路清掃活動

【活動団体】ボランティアサークル Clover

【活動日程】7月7日（金）

【活動場所】通学路（正門～ガソリンスタンド）

第2回目の大学周辺の道路（両側）の清掃活動を行いました。活動に対して近隣の方から感謝の言葉をかけていただきました。今回の活動で拾ったたくさんのゴミも、大学に持ち帰り処分しました。



14. Table For Two

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

Table For Two (TFT) とは、発展途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病を同時に解決する運動です。東京経済大学生協同組合と小木ゼミがコラボして「Table For Two」に取り組んでおり、生協での TFT ランチ 1 食購入につき 20 円が寄付され、発展途上国の子供たちの給食 1 食分となります。

ゼミでは、学生の意見を聞きながらメニュー案を出し、生協と相談しながらメニューを決め、試食会を経てメニューを本決定しました。メニュー考案の際には、食品や調味料やトッピングなど含めてすべてを TFT メンバーが考案しました。また、ポスターや POP などの宣伝物の作成、販売期間中の宣伝活動もおこないました。

2 つのメニューをそれぞれ 1 週間ずつ販売し、約 2 週間の販売期間で昨年比 1.5 倍の 1666 食を販売、33,320 円を寄付しました。

前期の TFT メニュー

○ ねばねば大集合! 究極のネバトロまぐろ丼

- 【販売期間】 7 月 10 日(月) ~ 7 月 14 日(金)
- 【価格】 430 円 (410 円 + 寄付金 20 円)
- 【熱量】 588kcal
- 【アレルギー】 小麦、鯖、大豆、山芋



○ スタミナチャージ!

栄養たっぷり夏野菜のトマトキーマカレー

- 【販売期間】 7 月 17 日(月) ~ 7 月 21 日(金)
- 【価格】 430 円 (410 円 + 寄付金 20 円)
- 【熱量】 692kcal
- 【アレルギー】 小麦、乳成分、豚肉、大豆、鶏肉



15. スイーツの協働販売活動

【活動団体】尾崎寛直ゼミ どーむ班（経済学部）

【販売日程】7 月 13 日(木)

【販売場所】葵陵会館前

尾崎ゼミどーむ班は、社会福祉法人万葉の里の関連施設、就労継続支援事業 B 型どーむの菓子製造部門「スイーツいずみ」と活動しています。

どーむ班の第 1 回目の協働販売活動として、「スイーツいずみ」のメンバーが製造したシフォンケーキや焼きドーナツ、フィナンシェなどの焼き菓子の販売を行いました。



16. 殿ヶ谷戸庭園でしおりづくり

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）

【開催日時】7月29日（土）～7月30日（日）

【開催場所】殿ヶ谷戸庭園 展示場



工

東京経済大学と殿ヶ谷戸庭園がコラボする初めてのイベントとして、「こくスマ！」がラミネート加工

のしおり作成のワークショップ（参加費 100 円、入場料別途）を開催しました。

学生達は、本学キャンパス内の花や殿ヶ谷戸庭園内の落ち葉など自然の素材をしおり作りの材料とするための技術を習得したり、殿ヶ谷戸庭園サービスセンターと打ち合わせを重ねたり、開催にむけての準備から活動を行いました。



17. N.E.O フェス ~New・Earth・Our~

【活動団体】尾崎寛直ゼミ、TKU Unlimited

【開催日時】8月11日（金）～8月20日（日）

【開催場所】国分寺マルイ

サステナブルなイベントとして開催された、新しく、地球にやさしい、わたしたちのフェスに尾崎ゼミと TKU Unlimited がパネル展示をおこないました。



18.TKU子ども食堂「子どもフェスティバル」

- 【活動団体】常森祐介ゼミ（現代法学部）有志メンバー
- 【開催日程】9月2日（土）
- 【開催場所】本多公民館

ゼミ生が中心となり国分寺地域の子ども向けにチャリティーバザーと輪投げやボウリング、ドッジボールなどの企画を主催しました。バザーの品物は教職員に呼び掛けて集まった洋服やおもちゃ等を出品しました。バザー等の売上金合計2,700円は、国分寺市社会福祉協議会に寄付しました。



19. 西国分寺駅 50周年記念イベント

- 【活動団体】こくスマ！、青木ゼミ、小木ゼミ、アカペラサークル、ギタークラブ
- 【開催日程】9月9日（土）
- 【開催場所】西国分寺駅南口広場、西国分寺駅東側エリア、いずみホール、西国分寺レガ

「中央線！武蔵野線！西国分寺駅 50周年記念 駅前フェスティバル」がJR西国分寺駅開設50周年を記念して開催されました。

こくスマ！は「オリジナル缶バッジを作ろう！」のワークショップをおこないました。

青木ゼミは「中央線立体交差化事業の効果」のパネル展示とプラレール体験会をおこない、小木ゼミはぶんぶんキャラバリーの販売をおこないました。

アカペラサークル、ギタークラブはいずみホールにて演奏を行いました。



20. 第8回こくまるパンフェスティバル

- 【活動団体】鈴木特別ゼミ キュニョンチーム
- 【開催日程】9月13日(水)~9月19日(火)
- 【開催場所】国分寺マルイ1階カレンダーリウム

鈴木特別ゼミ・キュニョンチームの学生が、初めて国分寺マルイ地下1階にあるポンパドウル国分寺マルイ店と国分寺マルイと共に新しいパン3点の開発をおこない、コラボパンの販売をしました。

5月のキックオフミーティングから始まり、パン作りレクチャーの受講、パンイメージ図案の作成、試作品作成と企画段階から参加してコラボパンを開発しました。パンフェスは国分寺市内外の有名なパン店が多数出店する中、コラボパンの販売を担当しました。

コラボパンは、パンフェス後もポンパドウル国分寺マルイ店にて販売されました。



21. スイーツの協働販売活動

- 【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班 (経済学部)
- 【販売日程】10月16日(月)
- 【販売場所】葵陵会館前

ともしび班の第3回協働販売活動として、社会福祉法人ななえの里「就労継続支援B型ともしび工房」のクッキー販売を行いました。



22. 秋を味わうライトアップ企画 第1弾~煌めく森と池~

- 【活動団体】鈴木特別ゼミ、こくスマ! (まちづくり学生団体)
- 【開催日程】10月18日(水)~11月1日(水)
- 【開催場所】新次郎池、東経の森

春の「Welcome light up!!」に続く秋のライトアップ企画第1弾として、新次郎池とその周辺をライトアップしました。



2.3. 国分寺お店大賞

【活動団体】鈴木ゼミ（経済学部）お店大賞班、（表彰式司会：放送研究会）

【開催日程】表彰式日程：10月22日（日）

（投票受付期間：8月1日（火）～8月31日（木））

【開催場所】表彰式：cocobunji プラザ5階 リオンホール（Instagramにてライブ配信）

国分寺お店大賞は、国分寺市内の個性的で魅力あるお店を発掘し、さらなる魅力向上や地域の活性化を図る目的で2018年度から国分寺市商工会主催で開催されています。今年も第6回となり、一般からの投票により「飲食部門」「小売・サービス部門」の2部門からグランプリ1店、準グランプリ2店を選出し、表彰式にて受賞店を発表しました。今年も数年ぶりに有観客での表彰式となりました。鈴木特別ゼミ「お店大賞班」は広報活動、投票や表彰式の企画・運営、受賞店プロモーションビデオの制作等、運営の協力を行いました。



2.4. ぶんじハロウィン

【活動団体】学生の地域貢献、Clover（学生ボランティアサークル）

【開催日程】10月22日（日）

【開催場所】国分寺駅周辺

第7回ぶんじハロウィンが4年ぶりに開催されました。「学生の地域貢献」を履修する学生とCloverのボランティア学生は、北口広場やcocobunji プラザのリオン広場にてスタッフとして活動しました。



25. 東経大名物パン開発プロジェクト パン総選挙

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・キニョンチーム（経済学部）

【アンケート実施期間】10月24日(火)～11月9日(木)

鈴木特別ゼミでは『実社会における問題解決力を鍛える』をテーマに掲げ、活動を行っています。

キニョンチームは葵陵会館2階のキニョン東経本店にご協力いただき活動を行っています。「パン総選挙」として、本校の学生や教職員向けにキニョン東経大の人気パンを決めるアンケートを実施しました。



26. スイーツの協働販売活動

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ドーむ班（経済学部）

【販売日程】10月26日(木)

【販売場所】葵陵会館前

ドーむ班の第2回目の協働販売活動として、社会福祉法人万葉の里の関連施設、就労継続支援事業B型ドーむ菓子製造部門「スイーツいずみ」のメンバーが製造したシフォンケーキや焼きドーナツ、フィナンシェなどの焼き菓子の販売を行いました。



27. 葵祭

【開催日程】11月4日(土)、11月5日(日)

葵祭（大学祭）期間中、葵陵会館の1階・2階を地域枠として、地域連携センターが関わるゼミや団体が出店しました。

ゼミナール連合会

【出店場所】葵陵会館1階食堂スペース（ラウンジ）

ゼミの魅力や活動内容をパネル等による展示形式で学生又は来場者に向けて説明しました。



こくスマ！（まちづくり学生団体）

【出店場所】葵陵会館1階食堂スペース（厨房横）

教職員などに呼びかけ、集まった品物をフリーマーケットで販売しました。また1ゲーム50円で射的とダーツをおこないました。売上金は国分寺市社会福祉協議会に寄付しました。



鈴木恒雄ゼミ（経済学部）

【出店場所】葵陵会館 1階食堂スペース

イントロクイズ「チーム対抗イントロドン」を1チーム5名のチーム戦で、1日2回参加費無料にて実施しました。



鈴木恒雄特別ゼミ（経済学部）

【出店場所】葵陵会館 2階

○昔懐かしい昭和の駄菓子屋

昭和の懐かしい世界観を再現し、瓶飲料の販売と駄菓子釣りを行いました。

○キニヨンコラボパン販売

「東経大名物パン開発プロジェクト」から生まれた、東経大生のニーズをもとにゼミ生が考案した完全オリジナルパン「チーズもち」を販売しました。コラボパンは、11月期間限定販売の商品として、キニヨン東経大店でも販売します。



小木紀親ゼミ（経営学部）

【出店場所】模擬店スペース（葵陵会館前）

国分寺産の野菜である「こくベジ」を使用した豚汁とじゃがバターを各 300 円にて模擬店で販売しました。



28. 国分寺まつり

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）

【開催日程】11月5日（日）

【開催場所】都立武蔵国分寺公園

第40回国分寺まつりが4年ぶりに開催されました。こくスマ！は、こくぶんじ観光まちづくり協会のブースにてオリジナル缶バッジとビーズアクセサリを各100円で販売しました。売上金は国分寺市社会福祉協議会に寄付します。

また、尾崎ゼミの学生は、障がい者センターと協力して販売活動をおこないました。



29. 東経大名物パン開発プロジェクト 新作パン「チーズもち」

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・キニョンチーム（経済学部）

【販売期間】11月7日（火）～11月30日（木）

【販売価格】180円（数量限定販売）

5月下旬から2週間にわたっておこなった、本学学生と教職員へのアンケートの結果をもとに、キニョン東経大店とともに新作パン「チーズもち」を開発しました。

期間・数量限定でキニョン東経大店にて販売しました。



30. 秋を味わうライトアップ企画 第2弾～誰かと見たい秋がココにある。～

【活動団体】鈴木特別ゼミ、こくスマ！（まちづくり学生団体）

【開催日程】11月8日（水）～11月29日（水）

【開催場所】1号館と2号館の間の銀杏並木

秋のライトアップ企画第2弾として、1号館と2号館の間の銀杏並木をライトアップしました。



3 1 . こくめしプロジェクト

- 【活動団体】鈴木特別ゼミ・こくめしプロジェクトチーム（経済学部）
- 【開催日程】11月13日(月)～12月3日(日)
- 【開催場所】国分寺市内の協力飲食店



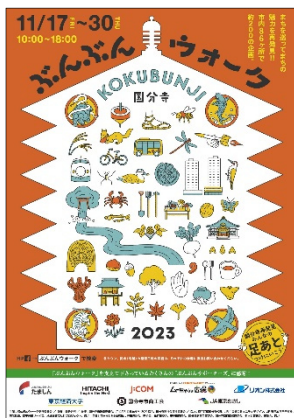
国分寺駅周辺の飲食店活性化を目指す活動として、国分寺市商工会と地域イベント「こくめし」を共催しています。国分寺市内の個人経営飲食店にご協力いただき、ゼミ生は共通商材を商工会の会議で提案して各年度の共通商材を決定、各飲食店に共通商材を使ったメニューの提案を行い「こくめし」メニューの開発、また SNS を用いての広報活動もおこないました。6 回目の開催となる今年度の共通商材は『漬け焼き』、過去最多の 18 店舗にご協力いただきました。



3 2 . ぶんぶんウォーク

- 【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）
- 【開催日程】11月18日（土）～11月19日（日）
- 【開催場所】cocobunji プラザ セミナールーム

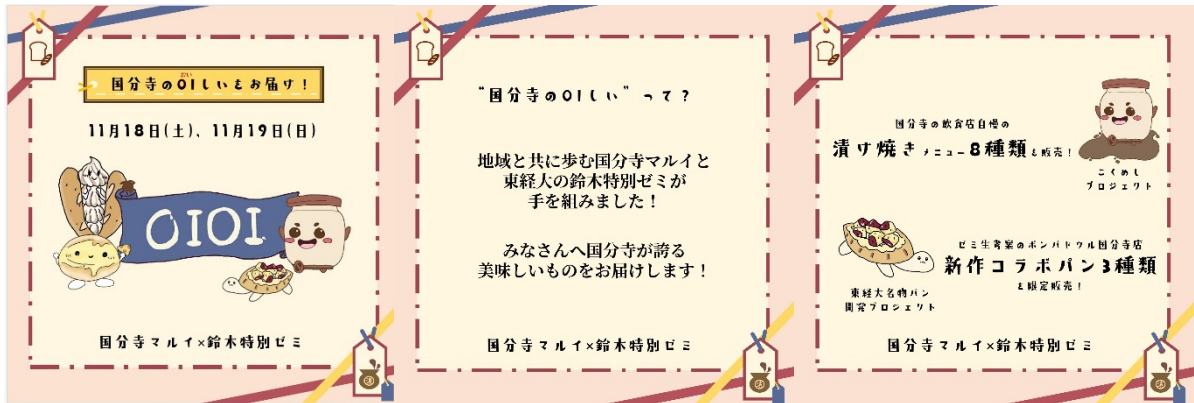
ぶんぶんウォークは11月17日(金)～30日(木)に国分寺市内86か所、約200の企画で開催されました。こくスマ!は11月18日(土)、19日(日)の2日間に、「オリジナル缶バッジ」「しおり作り」のワークショップと、こくぶんじ FAN 缶バッジの販売をしました。



33. 国分寺の〇い(おい)しいをお届け！

- 【活動団体】鈴木特別ゼミ・こくめしプロジェクトチーム（経済学部）
鈴木特別ゼミ・キニョンチーム（経済学部）
- 【開催日程】11月18日（土）～11月19日（日）
- 【開催場所】国分寺マルイ 1階催事場

国分寺マルイと鈴木特別ゼミが手を組み、国分寺が誇る美味しいものをお届けする企画として、ポップアップ・ストアを出店しました。こくめしプロジェクトチームは、「こくめし」協力店舗のうち8店舗の漬け焼きをお持ち帰りにして限定販売しました。キニョンチームは9月中旬に国分寺マルイで開催された「こくまるパンフェスティバル」にてポンパドウル国分寺店と開発・販売したコラボパン3点を限定販売しました。



34. スイーツの協働販売活動

- 【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）
- 【販売日程】11月20日（月）
- 【販売場所】葵陵会館前

ともしび班の第4回協働販売活動として、社会福祉法人ななえの里「就労継続支援B型ともしび工房」のクッキー販売を行いました。



3 5 立川南口街ゼミ

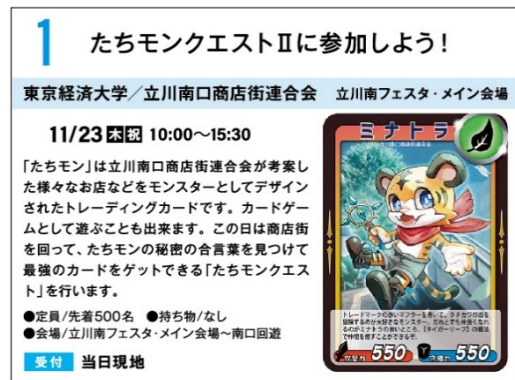
【活動団体】鈴木ゼミ・立川班（経済学部）

【開催日程】11月23日(木祝) イベント期間：11月1日(水)～11月23日(木・祝)

【開催場所】立川南フェスタ・メイン会場

【主 催】立川南フェスタ実行委員会

学生がイベント運営スタッフとして携わりました。「たちモン」とは、立川南口商店街連合会が考案した商店街、商店をモンスター化して作るトレーディングカードです。



3 6 . サステなぶんじ 2023

【活動団体】東京経済大学 SDGs 学生委員会

【開催日程】11月25日(土)～11月26日(日)

【開催場所】セレオ国分寺9階 インドアガーデン

セレオ国分寺とSDGs学生委員会が協働して「サステなぶんじ2023」を開催しました。

「捨てられちゃうものでアップサイクルに挑戦!」をテーマにした企画として、トイレトペーパーの芯や商品パッケージを使った「はいざい細工る(サイクル)ワークショップ」、ならびにアップサイクルのクイズスポットラリーを開催しました。



3 7 . Table For Two

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

後期も東京経済大学生生活協同組合と小木ゼミがコラボして「Table For Two」に取り組みました。前期と同様にTFTランチ1食購入につき20円が寄付され、発展途上国の子供たちの給食1食分となります。後期はTFT初の麺類の販売にも挑戦しました。

前期同様に2つのメニューをそれぞれ1週間ずつ販売し、約2週間の販売期間で1462食分、29,240円を寄付しました。

また、前期と合計すると1年間で62,560円を寄付することができました。

後期のTFTメニュー

○極旨！塩ネギトロユッケ丼！

- 【販売期間】 11月27日(月)～12月1日(金)
- 【価格】 450円(430円+寄付金20円)
- 【熱量】 682kcal
- 【アレルギー】 卵、小麦、ごま



○ピリッと辛いがクセになる！台湾風まぜそば

- 【販売期間】 12月4日(月)～12月8日(金)
- 【価格】 370円(350円+寄付金20円)
- 【熱量】 519kcal
- 【アレルギー】 卵、小麦、乳成分、豚肉、鶏肉、大豆、ごま



38. 東経大名物パン開発プロジェクト 【推しのパン祭り】

- 【活動団体】 鈴木特別ゼミ・キニョンチーム(経済学部)
- 【販売期間】 11月29日(水)～11月30日(木)
- 【販売場所】 葵陵会館前

10月24日から2週間余りにわたって行われたパン総選挙(アンケート)で上位となったキニョン東経大店の3つのパンと、今年度コラボして開発した新作パン「チーズもち」の4種類を販売しました。購入者には紅茶のプレゼントと性格×推しパン診断をおこないました。



39. スイーツの協働販売活動

- 【活動団体】 尾崎寛直ゼミ ともしび班(経済学部)
- 【販売日程】 12月18日(月)
- 【販売場所】 葵陵会館前

ともしび班の第5回協働販売活動として、社会福祉法人ななえの里「就労継続支援B型ともしび工房」のクッキー販売を行いました。「お菓子の家」などの季節商品も販売され、早々に完売となる人気でした。





40. 英語で遊ぼう - 日本文化を英語で -

【活動団体】カレイラ松崎順子先生（全学共通教育センター）他教員 3 名と本学学生 10 名

【活動日程】12 月 18 日（月）

【活動場所】cocobunji WEST 5 階

英語で日本文化を体験することを目的に、国分寺市の 3 歳から小学生とその保護者を対象として活動を行いました。参加した児童は、学生とともに英語で楽しそうに羽子板、折り紙、ゲームをしたり、お茶を点ててお菓子を食べたりしました。国分寺市には、学生ボランティアによるこのような活動がとて少ないことから、英語教育という観点から社会貢献ができました。



41. SDG s 出前授業

【活動団体】TKU Unlimited 食品ロスプロジェクト

【開催日程】12 月 20 日（水）

【開催場所】国分寺市立第十小学校

国分寺市立第十小学校からの依頼により、5 年生を対象としたフードロスに関する SDG s 出前授業をおこないました。



42. にしこくおみやげプロジェクト

【活動団体】小木ゼミ・お菓子コラボ活動（経営学部）

【販売期間】12 月 22 日（金）

【販売場所】西国分寺駅改札内催事スペース

「西国分寺ならではのおみやげがない!」という地域の声を踏まえ、地域に根差した団体や企業との連携で付加価値を作りたいとの思いから発足したプロジェクトです。西国分寺駅を運営する JR 中央線コミュニティデザイン、社会福祉法人 AnnBee とコラボして進めています。需要調査を目的に第 1 回販売会を実施したところ、1 日（10 時から 19 時）の販売活動で予想の 2 倍程度(15 万円)の売り上げとなりました。次年度 4 月には、小木ゼミ考案のコラボ商品を目玉に第 2 回販売会を予定しています。



4.3. 新春ぶんじ寄席

【活動団体】落語研究会

【販売日程】1月6日(土)

【販売場所】セレオ国分寺 9階特設ステージ

2016年よりセレオ国分寺とのコラボ企画として開催、今年は「各駅亭ごとごと」さんも落語を披露しました。



4.4. スイーツの協働販売活動

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）

【販売日程】1月15日(月)

【販売場所】葵陵会館前

ともしび班の2023年度最後の協働販売活動として、社会福祉法人ななえの里「就労継続支援B型ともしび工房」のクッキー販売を行いました。ともしび班は今年度6回の販売会を実施しました。



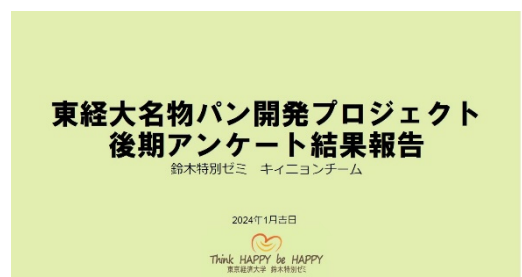
4.5. 東経大名物パンプロジェクト アンケート

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ キニョンチーム（経済学部）

【実施期間】12月6日(水)～12月23日(土)

【結果公表】1月17日(水)

鈴木特別ゼミ・キニョンチームでは、本学の学生・教職員を対象として2023年度の活動振り返りを行うために、



後期アンケートを実施しました。

前期アンケートをもとに、キニョン東経大店と開発した新作パン「チーズもち」に関する意見や活動目標の達成度といった内容について、得られた結果を踏まえて来年度の活動に反映させていく予定です。

3. アンケート結果のまとめ

- ・キニョン東経大店の利用頻度は、月に1回以上が最も多い。
- ・チーズもちの認知度は約6割ほどで、その中でも食べたことのある人は約5割となった。全体でみると食べたことのある人は、約3割となっている
- ・利用したきっかけにおいて、投票数による差もあるが男性において女性ほど味による利用の傾向が顕著ではない。男性向けの商品を積極的に考えていきたい。
- ・SNSの認知度は、全体的に低いが、特に1年生の認知度が低く、2年生が最も高い。

4. アンケート結果を踏まえた考察

1. 学年が上がるにつれて、週1回以上の割合が減っているため、来学期では1年生のリピーターをキープすることが必要だ。また、月に1度はキニョン東経大店を利用されているということは、そこからリピーターを作ることできる。実際に直近で行っていたが、外販で販売したチーズもちを少しの間キニョンに置いて、SNS活動によって魅力的なパンを伝えるなどしてリピーターを作っていく。
2. チーズもちを実際に食べた人は全体の3割という結果となった。だが、チーズもちを知っている人の中では5割ほどが食べられている。つまりは、認知してもらったことにより食べたいただける人の割合が増えたとはいえる。まず、認知してもらわないと食べるということもできない。現場での告知方法がSNSや大学でのポスター設置程度しかないため、ここを改善し増やしていく必要がある。
3. 利用したきっかけにSNSが低いという理由は、まずアカウント自体を認知されていないことが考えられる。SNSに関連づけたイベントを催したり、校内でQRコードを貼ったりとアカウント自体を知ってもらい、そこからお店に興味を持ってもらう必要がある。

4.6. スイーツの協働販売活動

【活動団体】尾崎寛直ゼミ どーむ班・太陽班（経済学部）

【販売日程】1月18日（木）

【販売場所】葵陵会館前

どーむ班の2023年度最後の協働販売活動として、社会福祉法人万葉の里の関連施設 就労継続支援事業B型どーむ菓子製造部門「スイーツいずみ」のメンバーが製造したシフォンケーキや焼きドーナツ、フィナンシェ等の焼き菓子販売を行いました。どーむ班は今年度3回の販売会を実施しました。また、太陽班は、社会福祉法人万葉の里の関連施設 生活介護事業「太陽」で製作された組紐や革工芸品の販売をどーむ班のスイーツ販売と一緒におこないました。



4.7. 国分寺お店大賞公式マスコットキャラクター決定

【活動団体】鈴木恒雄ゼミ お店大賞班（経済学部）

【作品応募期間】7月15日（土）～8月31日（木）

【投票期間】11月2日（木）～11月30日（木）

【投票結果発表】2月1日（木）

回数を重ねるごとに盛り上がりを見せているお店大賞をさらに盛り上げるため、公式マスコットキャラクターのデザインを広く募集しました。作品応募総数32点、最終候補6点の中から市民の投票によって大山絢さんの作品「もぐまる」が公式マスコットキャラクターに決定しました。

作品デザインを基にキャラクターのイラストを作成し、今後SNSなどのPR活動に広く役立てます。



| | |
|-------|---|
| 名前 | もぐまる |
| 性別 | 男の子 |
| 誕生日 | 2月1日 |
| 性格 | 好奇心旺盛でなんでもおねだりする |
| 趣味 | 街の探索、もぐもぐ食べる |
| 特技 | まん丸の目と自慢の双眼鏡でたくさんお店を発掘すること |
| 名前の由来 | 愛らしい丸い目で国分寺市内の魅力あるお店を発掘するため、国分寺市を探索するモグラの「もぐまる」 |

4.8. 第9回こくまるパンフェスティバル

【活動団体】鈴木特別ゼミ キュニョンチーム
 【開催日程】3月15日(金)~3月21日(木)
 【開催場所】国分寺マルイ1階カレンダーリウム

第8回こくまるパンフェスに引き続き、ポンパドウル国分寺マルイ店と国分寺マルイと共に新作パン3点の開発をしました。パンフェス期間中は国分寺市内外の有名パン店が過去最大級の14店舗が出店する中、ゼミ生がコラボパンを販売しました。



4.9. 国分寺物語

【活動団体】小木紀親ゼミ (経営学部)

国分寺物語とは、「地域の方々の想い」に焦点を当てて国分寺の魅力を発信・共有することで地域活性化を支援する、一般社団法人ニッポニアニッポンとコラボした学生主体の地域活性化プロジェクトです。ローカルテーブル、こくべじ御膳、クリスマスマルシェなど1年を通じて活動を行いました。国分寺の魅力を発信・共有する媒体としては主にSNSを使用しました。



| 3 活動内容 | |
|-----------------|------------------|
| 01 ローカルテーブル | 07 こくべじ御膳 |
| 02 こくぶんじ写真コンクール | 08 夏やさいマルシェ |
| 03 こくフェス2023 | 09 西国分寺駅50周年イベント |
| 04 ちいさいてのわ市 | 10 第二中四分寺調査レクチャー |
| 05 もぐもぐ探検隊 | 11 焚祭 |
| 06 清水農園さん見学 | 12 ぶんぶんウォーク2023 |
| | 13 クリスマスマルシェ |



5.0. こくぶんじ写真コンクール

【活動団体】小木紀親ゼミ (経営学部)
 【活動日程】11月1日(水)~1月14日(日)
 * 審査は2月におこないます

第45回こくぶんじ写真コンクールがこくぶんじ観光まちづくり協会の主催で開催されました。小木ゼミ「国分寺物語」などが協賛、「国分寺物語」のメンバーは審査員としても活動しました。



学生の地域参加（ボランティア等）まとめ

| | イベント・行事名 | 主催 | 実施日 | 内容 |
|----|---|---|---|--|
| 1 | 「ぶんじコンシェルジュ」 事業 | 国分寺市 こくぶんじ観光まちづくり協会 東京経済大学 （「こくスマ！」） | 4月～3月 | こくスマ！が、平日17時～19時に国分寺市案内所等で国分寺のPR、周辺情報の案内等 |
| 2 | 「国分寺物語」 | 小木紀親ゼミ ニッポニアニッポン | 4月～3月 | ウェブ上で国分寺の魅力を発信 【国分寺周辺地域活動費助成】 |
| 3 | キニョン東経大店の 販売促進 | 鈴木恒雄特別ゼミ | 4月～3月 | ウェブアンケートを使ったニーズ調査と、その結果に基づいた新商品の開発・販売促進活動をおこなう |
| 4 | 「国分寺お店大賞」 | 国分寺市商工会 国分寺お店大賞 実行委員会 | 4月～10月 | 鈴木恒雄ゼミが協力 投票・表彰式の運営、受賞店PR活動等 公式マスコットキャラクターの決定（2月） |
| 5 | 「こくめし」 プロジェクト | 鈴木恒雄特別ゼミ 国分寺市商工会 | 4月～12月 | 市内飲食店の活性化イベント 今年度のテーマは「漬け焼き」過去最多18店舗が参加 |
| 6 | こんなお菓子あったらいいな プロジェクト 「ぶんぶんキャラベリ」の販売 | 小木紀親ゼミ | 4月～9月 | 2022年度に企画開発・商品化した小木ゼミ生による「ぶんぶんキャラベリ」の販売を実施 |
| 7 | ライトアップ企画 | 鈴木恒雄特別ゼミ こくスマ！ | 4/12～4/18 10/18～11/1 11/8～11/29 | 春は正門付近の木々、秋は第1弾に新次郎池周辺、第2弾に1、2号館間のイチヨウ並木をライトアップする |
| 8 | 新緑まつり | 新緑まつり実行委員会 本多図書館 本多公民館 | 5/19～21 | 青木亮ゼミが「国分寺LRT計画」のパネル展示 【国分寺周辺地域活動費助成】 |
| 9 | 「こくフェス」 | 「こくフェス」 実行委員会 「こくスマ！」 | 5/27～5/28 | 地域音楽フェス「こくフェス」に、こくスマ！は企画段階から参加 小木ゼミ,ボランティアサークル Clover,本学音楽系サークル等も運営に参加 |
| 10 | 障がい者団体との コラボ販売実践活動等 | 尾崎寛直ゼミ 「ともしび班」 尾崎寛直ゼミ 「どーむ班」 | 6/5,7/3,10/16, 11/20,12/18,1/15 7/13,10/26,1/18 | 葵陵会館前での尾崎寛直ゼミ生による障がい者団体とコラボしたスイーツ販売活動。他に重度障がい者へのスポーツを通じての社会参加と健康づくりの支援も実施 |
| 11 | 通学路清掃活動 | 東京経済大学 ボランティアサークル Clover | 6/6、7/7 | 大学周辺道路の清掃 |
| 12 | 殿ヶ谷戸庭園でしおり作り | こくスマ！ SDGs学生委員会(講習) 殿ヶ谷戸庭園 | 6/22(講習) 7/29,30 | 東経の森や殿ヶ谷戸庭園で葉や花を採取、それらを押し花にしてからラミネート加工し、透明な押し花しおりを作る |
| 13 | オシャレな フードライブを考えよう | TKU Unlimited | 7/5 | より多くの人に参加するための新しいフードドライブ案を考えるワークショップ |
| 14 | Table For Two | 小木紀親ゼミ | 7/10～14, 7/17～21 11/27～12/1, 12/4～8 | ゼミ生が生協とコラボして考案したTFTランチ購入一食につき20円が発展途上国の子供たちの給食一食分となって寄付される取り組み 【国分寺周辺地域活動費助成】 |

| | イベント・行事名 | 主催 | 実施日 | 内容 |
|----|---|---|----------------------------|---|
| 15 | N.E.O フェス ~ New・Earth・Our ~ | 国分寺マルイ | 8/11 ~ 8/20 | サステナブルなイベントとして開催された、新しく、地球にやさしい、わたしたちのフェス。尾崎ゼミと TKU Unlimited がパネル展示で参加 |
| 16 | 子どもフェスティバル | 常森裕介ゼミ有志 | 9/2 | コロナ禍にはじまった、子どもたちの交流イベントとバザー。常森裕介ゼミ有志が企画し本多公民館で開催 [学生の社会貢献活動に対する助成] |
| 17 | 中央線！武蔵野線！ 西国分寺駅 50 周年記念 駅前フェスティバル | (株)JR 中央線コミュニティデザイン 国分寺市 | 9/9 | こくスマ！はワークショップ、小木ゼミは販売、青木ゼミは展示、アカベラサークルとギタークラブはステージ発表で参加・協力 [国分寺周辺地域活動費助成] |
| 18 | こくまるパンフェスティバル | 国分寺マルイ 鈴木恒雄特別ゼミ | 9/13 ~ 9/19 3/15 ~ 3/21 | 国分寺市内外の有名パン店が多数出店する中、鈴木恒雄特別ゼミ生がポンパドウル国分寺店と共同開発したコラボパン 3 点を販売 |
| 19 | 第 7 回ぶんじハロウィン | ぶんじハロウィン実行委員会 国分寺駅北口商店街 北口南側通り 交通安全まちづくり協議会 東京経済大学 ボランティアサークル Clover | 10/22 | 「学生の地域貢献」を履修する学生と Clover のメンバーがイベント内各所でスタッフとして協力 |
| 20 | 葵祭 フリーマーケット・射的 ならびにバザー | 「こくスマ！」 常森裕介ゼミ有志 | 11/4 ~ 11/5 | こくスマ！はフリーマーケットと射的を、常森裕介ゼミ有志はバザーを実施 売上金はそれぞれ国分寺市社会福祉協議会に寄付 |
| 21 | 国分寺まつり | 国分寺まつり実行委員会 | 11/5 | こくスマ！が缶バッジとしおりを販売、尾崎ゼミは障がい者センターと協力して焼き菓子販売 |
| 22 | ぶんぶんウォーク 2023 | ぶんぶんウォーク 実行委員会 | 11/17 ~ 11/30 | 「こくスマ！」が、しおり作りと缶バッジ作りのワークショップを開催 |
| 23 | 国分寺の OI(おい)しい をお届け! | 国分寺マルイ 鈴木恒雄特別ゼミ | 11/18 ~ 11/19 | 国分寺マルイと鈴木特別ゼミがコラボして、こくめし協力店舗 8 店のお弁当ならびに、第 8 回こくまるパンフェスティバルで販売したコラボパン 3 点を国分寺マルイ 1F で販売 |
| 24 | 立川南フェスタ 2023 | 鈴木恒雄ゼミ | 11/23 | 立川南口街ゼミ講座「タチモン」クエストのイベント運営 |
| 25 | サステなぶんじ 2023 | セレオ国分寺 東京経済大学 SDGs 学生委員会 | 11/25 ~ 11/26 | セレオ国分寺と SDGs 学生委員会が協働で「はいざい細工るワークショップ」とアップサイクルのクイズラリーを開催。他に SDGs 学生委員会は啓発シールを作成し学内に貼付 [学生の社会貢献活動に対する助成] |
| 26 | 英語で遊ぼう ー 日本文化を英語でー | カレイラ松崎順子他 本学教員 3 名と学生 10 名 | 12/18 | 子供達が羽子板、折り紙やお茶を点てる等の日本文化を英語で体験する交流イベント cocobunji WEST で開催 [国分寺周辺地域活動費助成] |
| 27 | SDG s 出前授業 | TKU Unlimited | 12/20 | 国分寺市立第十小学校 5 年生にフードロスに関する出前授業を実施 |
| 28 | にしこくおみやげプロジェクト | JR 中央線コミュニティデザイン 小木紀親ゼミ | 12/20 | 社会福祉法人 AnnBee とコラボして西国分寺ならではのお土産の考案と販売 |
| 29 | 新春ぶんじ寄席 | セレオ国分寺 落語研究会 | 1/6 | 落語研究会による新春恒例の寄席 |
| 30 | こくぶんじ写真コンクール | こくぶんじ観光まちづくり協会 | 2 月 | 小木紀親ゼミ「国分寺物語」が審査員として参加 [国分寺周辺地域活動費助成] |

東京経済大学 地域連携センター 2023 年度年次報告書
2024 年 4 月 1 日 発行

東京都国分寺市南町 1-7-34

Tel: 042-328-7950

Fax: 042-328-7949

Mail: crc@s.tku.ac.jp

URL: <https://www.tku.ac.jp/renkei/>

Twitter: [🐦@crc_tku](https://twitter.com/crc_tku)